

Japanese Congress
for Infrastructure Management

Fact Book

2022-2023

インフラメンテナンス国民会議
ファクトブック



インフラメンテナンス国民会議

インフラメンテナンス国民会議とは

インフラは豊かな国民生活、社会基盤を支える基盤です。老朽化するインフラが急増するなかで、施設管理者は限られた予算のなかで対応しなければなりません。そのため、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保する必要があります。

また、豊かな国民生活を送る上でインフラメンテナンスは国民一人ひとりにとって重要なものです。

そこで、インフラを良好な状態で持続的に活用するために、産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、インフラメンテナンスの理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図り、活力ある社会の維持に寄与することを目的に平成28年11月に「インフラメンテナンス国民会議」は設立しました。

インフラメンテナンス国民会議の目的

- 1 革新的技術の発掘と社会実装
- 2 企業等の連携の促進
- 3 地方自治体への支援
- 4 インフラメンテナンスの理念の普及
- 5 インフラメンテナンスへの市民参画の推進

インフラメンテナンス国民会議について	01		
沿革	01		
活動の拡がり	02		
推進体制	03		
主要な活動			
令和4年度 インフラメンテナンス国民会議総会	07		
社会インフラテック2022	08		
道路メンテナンスのこれから ~笹子10年から"xRoad"へ~	09	関東ブロック	18
本音のインフラメンテナンス ~これまでの取組・今後のあり方~	10	北陸ブロック	19
高専生が経営トップに聞くインフラメンテナンス	11	中部ブロック	20
自治体の取組紹介~いかにして取組を進めたか~	12	近畿ブロック	21
インフラメンテナンスのグッドプラクティスの展開	13	中国ブロック	22
海外市場展開フォーラムの取り組みと海外展開事例紹介	14	四国ブロック	23
インフラメンテナンス市区町村長会議	15	九州・沖縄ブロック	24
北海道ブロック	16	公認フォーラム	
東北ブロック	17	革新的技術フォーラム	25

2022-2023 Fact Book



自治体支援フォーラム	26	中部フォーラム	39
技術者育成フォーラム	27	近畿本部フォーラム	41
市民参画フォーラム	28	「ちゅうごく」(中国フォーラム)	47
海外市場展開フォーラム	30	四国地方フォーラム	53
公認フォーラム(地方フォーラム)		九州フォーラム	56
北海道フォーラム	31	沖縄フォーラム	59
東北フォーラム	34	第6回インフラメンテナンス大賞	61
関東地方フォーラム	36		
北陸インフラメンテナンスフォーラム	38		

インフラメンテナンス国民会議について

沿革

平成24年	7月25日	国土交通大臣から社会資本整備審議会会長及び交通政策審議会会長あて「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」の諮問
	7月31日	第9回社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会(以下 技術部会)・社会資本メンテナンス戦略小委員会の設置
	12月2日	中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故
平成25年		「社会資本メンテナンス元年」として位置付け
	1月21日	社会資本の老朽化対策会議 設置
	1月30日	社会資本メンテナンス戦略小委員会緊急提言 「本格的なメンテナンス時代に向けたインフラ政策の総合的な充実～キックオフ「メンテナンス政策元年」～」(大臣への手交)
	3月21日	社会資本の老朽化対策会議 ・「社会資本の維持管理・更新について当面講ずべき措置」決定
	5月30日	「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」中間答申(大臣への手交)
	10月4日	インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議 設置
	11月29日	インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議 ・「インフラ長寿命化基本計画」決定
	12月25日	「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」答申
平成26年	5月21日	社会資本の老朽化対策会議 ・「国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)」決定
平成27年	2月27日	技術部会「社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進方策」提言 ・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設置 等提言
	6月30日	「日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-」閣議決定 ・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立 位置付け
	11月27日～ 12月16日	インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立に向けた意見交換会(第1回)の実施 ・約80の企業・団体から意見をヒアリング
平成28年	4月15日～ 4月27日	インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立に向けた意見交換会(第2回)の実施 ・国民会議の青写真をもとに約70の企業・団体と意見交換
	6月2日	「日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-」閣議決定 ・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設置 位置付け
	7月29日	政務官勉強会提言 ・「インフラメンテナンスの加速化」提言 ・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の創設 位置付け
	6月2日～ 9月29日	インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立に向けた準備会の実施 ・国民会議の運営に参加したい企業・団体と、具体的な組織や実施事項について検討開始 ・各種部会、フォーラム準備会により、検討内容、進め方等について議論(延べ11回開催)
	11月28日	インフラメンテナンス国民会議設立
平成29年	7月24日	平成29年度インフラメンテナンス国民会議総会(第1回インフラメンテナンス大賞表彰式と同日開催)
平成30年	4月	全国10地域で地方フォーラムが設立
	8月9日	第2回インフラメンテナンス大賞表彰式
	12月6日	平成30年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2018開会式と同日開催)
令和元年	11月7日	第3回インフラメンテナンス大賞表彰式開催
	12月4日	令和元年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2019ステージにて開催)
令和3年	1月8日	第4回インフラメンテナンス大賞表彰式開催
	12月8日	令和2年度インフラメンテナンス国民会議総会(メール開催) 令和3年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2021ステージにて開催)
令和4年	1月21日	第5回インフラメンテナンス大賞表彰式開催
	4月28日	インフラメンテナンス市区町村長会議設立
	12月7日	令和4年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2022 ステージにて開催)
令和5年	1月13日	第6回インフラメンテナンス大賞表彰式開催

活動の拡がり

会員は、国民会議の趣旨に賛同して十分な意欲を持って活動に参画していただける企業、団体、行政機関(国を除く)又は個人による正会員とし、正会員については、入会の手続きを経て会員の資格を取得することとしています。

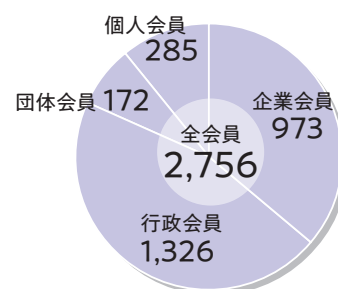
そのほか、国民会議運営のために会員の推薦によりご入会いただく特別会員や、活動以外の形態により国民会議に協力をいただく賛助会員があります。

参加会員内訳

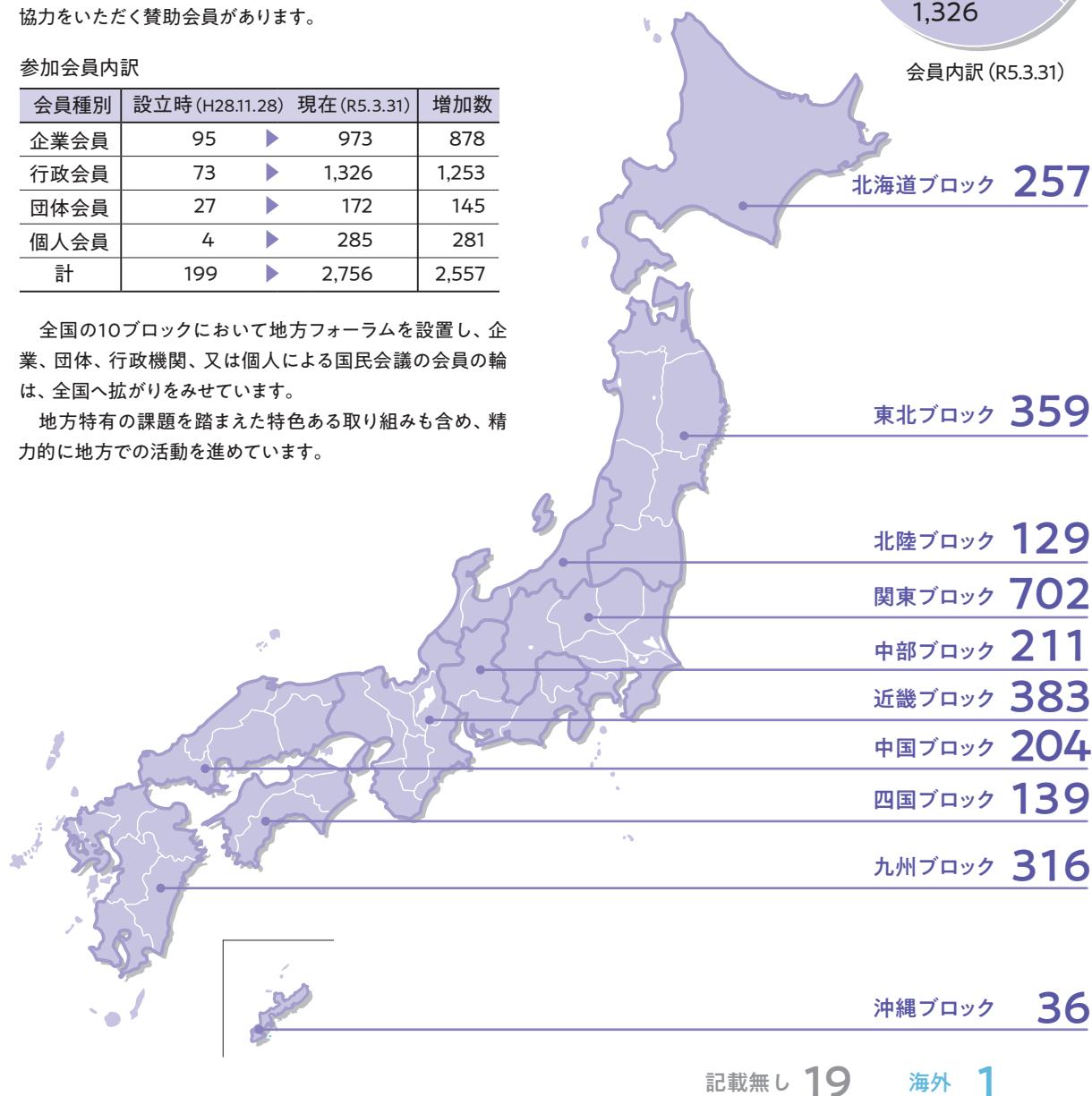
会員種別	設立時(H28.11.28)	現在(R5.3.31)	増加数
企業会員	95	973	878
行政会員	73	1,326	1,253
団体会員	27	172	145
個人会員	4	285	281
計	199	2,756	2,557

全国の10ブロックにおいて地方フォーラムを設置し、企業、団体、行政機関、又は個人による国民会議の会員の輪は、全国へ拡がりをみせています。

地方特有の課題を踏まえた特色ある取り組みも含め、精力的に地方での活動を進めています。



会員内訳 (R5.3.31)



地方ブロック毎 会員数内訳

会員種別	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	海外	記載無し	合計
企業会員数(本社ベース)	59	113	362	50	81	124	65	32	72	14	1		973
行政会員数	180	199	159	62	101	192	112	91	213	17			1,326
団体会員数(連絡先ベース)	3	20	73	9	12	22	9	8	12	4			172
個人会員数(連絡先ベース)	15	27	108	8	17	45	18	8	19	1		19	285
合計	257	359	702	129	211	383	204	139	316	36	1	19	2,756

推進体制

国民会議の活動については、国民会議の趣旨に賛同し活動に意欲のある企業、研究機関、施設管理者、市民団体等の会員にメリットのある活動を会員の主体的な運営により行うこととし、会員により構成される実行委員会、各部会、各フォーラム企画委員会を設け、運営を行います。

総会 国民会議 会員(令和5年3月31日時点) 2,756者(企業973、行政1,326、団体172、個人285)

会長



富山 和彦

株式会社経営共創基盤 (IGPI)
IGPIグループ会長
株式会社
日本共創プラットフォーム (JPiX)
代表取締役社長

副会長



家田 仁

政策研究大学院大学
特別教授

実行委員会 国民会議全体の運営

■実行委員

阿部 雅人 (株)ベイスコンサルティング	片岡 信之 (一社)国土政策研究会	高山 保 バイオニア(株)
岩城 一郎 日本大学	熊倉 信行 東芝環境ソリューション(株)	田村 裕美 (一社)ソーシャルテクニカ
岩佐 宏一 (公社)日本ファシリティマネジメント協会	小林 大 大日本コンサルタント(株)	永田 善裕 リノブリッジ(株)
大石 健二 パシフィックコンサルタンツ(株)	笹谷 達也 日鉄高炉セメント(株)	羽島 徹 富士フィルムビジネスイノベーション(株)
大島 邦彦 (株)熊谷組	沢田 和秀 岐阜大学	吉田 典明 日本工営(株)
大堀 正人 (株)日立ソリューションズ	鈴木 泉 (株)ガイアート	若木 和雄 日進工業(株)
奥田 早希子 (一社)Water-n	高橋 千里 (同)スマートウォーター	

03

III 企画部会 インフラメンテナンスに関する企画等

■部会長

木村 康博 国土交通省
(~令和4年6月30日)
廣瀬 健二郎 国土交通省
(令和4年7月1日~)

■幹事

箱田 厚 国土交通省
吉田 典明 日本工営(株)

■部会委員

阿部 雅人 (株)ベイスコンサルティング
大石 健二 パシフィックコンサルタンツ(株)
大島 邦彦 (株)熊谷組
大堀 正人 (株)日立ソリューションズ
熊倉 信行 東芝環境ソリューション(株)
小林 大 大日本コンサルタント(株)

沢田 和秀 岐阜大学
鈴木 泉 (株)ガイアート
高橋 千里 (同)スマートウォーター
高山 保 バイオニア(株)
田村 裕美 (一社)ソーシャルテクニカ
若木 和雄 日進工業(株)

鈴木 宏一郎 国土交通省
隅藏 雄一郎 国土交通省
武田 哲英 国土交通省
神野 一 国土交通省
大西 里奈 国土交通省

III 広報部会 インフラメンテナンスの理念普及、国民会議の広報

■部会長

小林 大 大日本コンサルタント(株)

■幹事

田子 裕子 大日本印刷(株)

■部会委員

永田 善裕 リノブリッジ(株) 神野 一 国土交通省
那珂 通大 ニチレキ(株) 大西 里奈 国土交通省

III インフラメンテナンス市区町村長会議

- 首長同士の意見交換による知見や意識の向上
- トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進
- 社会に対するインフラメンテナンスの必要性の啓発

1 ブ北海道 ック	2 ブ東北 ック	3 ブ関東 ック	4 ブ北陸 ック	5 ブ中部 ック	6 ブ近畿 ック	7 ブ中国 ック	8 ブ四国 ック	9 ブ九州・ 沖縄
-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------

詳細は5・6ページ参照

推進体制

公認フォーラム

革新的技術 フォーラム	自治体支援 フォーラム	技術者育成 フォーラム	市民参画 フォーラム	海外市場展開 フォーラム
<p>オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング</p> <p>■リーダー 木村 康博 (～令和4年6月30日) 国土交通省 廣瀬 健二郎 (令和4年7月1日～) 国土交通省</p> <p>■企画委員 岩佐 宏一 (公社)日本ファシリティマネジメント協会 大嶋 正人 (株)日立ソリューションズ 高山 保 バイオニア(株) 羽鳥 徹 富士フィルムビジネスイノベーション(株) 笹谷 達也 日鉄高炉セメント(株) 秋本 雅司 (株)島津製作所 山本 康弘 能美防災(株) 熊倉 信行 東芝環境ソリューション(株) 杉崎 光一 (株)ペイシスコンサルティング 小沼 恵太郎 パシフィックコンサルタンツ(株) 小村 和司 (株)日立製作所 菅野 智行 (株)日立製作所 小林 大 大日本コンサルタンツ(株) 若木 和雄 日進工業(株) 隅藏 雄一郎 国土交通省 原田 駿平 国土交通省 大西 里奈 国土交通省</p>	<p>自治体の課題解決、自治体のニーズ・民間企業等のノウハウの情報交換</p> <p>■リーダー 木村 康博 (～令和4年6月30日) 国土交通省 廣瀬 健二郎 (令和4年7月1日～) 国土交通省</p> <p>■企画委員 岩佐 宏一 (公社)日本ファシリティマネジメント協会 大島 邦彦 (株)熊谷組 奥田 早希子 (一社)Water-n 片岡 信之 (一社)国土政策研究会 鈴木 泉 (株)ガイアート 高橋 千里 (同)スマートウォーター 高山 保 バイオニア(株) 吉田 典明 日本工営(株) 鈴木 宏一郎 国土交通省 武田 哲英 国土交通省 神野 一 国土交通省 大西 里奈 国土交通省</p>	<p>地域における技術者育成の活動を支援</p> <p>■リーダー 鈴木 泉 (株)ガイアート</p> <p>■企画委員 中谷 孔右 (株)エコワーク 小宮山 直久 (株)三菱総合研究所 岩佐 宏一 (公社)日本ファシリティマネジメント協会 渡邊 大介 (一社)ガイアート 鈴木 宏一郎 国土交通省 原田 駿平 国土交通省 秋野 皓介 国土交通省 神野 一 国土交通省 大西 里奈 国土交通省</p>	<p>インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開</p> <p>■リーダー 岩佐 宏一 (公社)日本ファシリティマネジメント協会</p> <p>■企画委員 世古 一穂 NPO研修・情報センター 鈴木 泉 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 駒田 智久 土木学会シビルNPO推進小委員会 岡野 登美子 アイセイ(株) 田中 努 シビルNPO連携プラットフォーム 本間 順 (株)駒井ハルテック 奥田 早希子 (一社)Water-n</p>	<p>海外への情報発信や海外展開案件形成</p> <p>■企画委員 森 範行 (～令和4年6月30日) 国土交通省 村瀬 勝彦 (令和4年7月1日～) 国土交通省 古澤 靖久 あざき監査法人(KPMG) 香川 将美 インデックスコンサルティング 大島 邦彦 (株)熊谷組 橋詰 健 建設プロジェクト運営方式協議会 中川 均 (公社)日本ファシリティマネジメント協会 川村 正夫 (公社)日本ファシリティマネジメント協会 小沼 恵太郎 パシフィックコンサルタンツ(株) 内藤 誠司 パシフィックコンサルタンツ(株)</p>

地方フォーラム (詳細は5・6ページ参照)

1 北海道 フォーラム	2 東北 フォーラム	3 関東地方 フォーラム	4 北陸インフラ メンテナンス フォーラム	5 中部 フォーラム
6 近畿本部 フォーラム	7 「ちゅうごく」 (中国フォーラム)	8 四国地方 フォーラム	9 九州 フォーラム	10 沖縄 フォーラム



国(国土交通省および関係省庁)

インフラメンテナンス市区町村長会議

■代表理事 東京都稲城市長 高橋 勝浩

1 北海道ブロック

■代表幹事

北海道 釧路市長 蝦名 大也

■企画委員

北海道 札幌市長 秋元 克広

北海道 函館市長 工藤 壽樹

北海道 旭川市長 今津 寛介

北海道 釧路市長 蝦名 大也

北海道 帯広市長 米沢 則寿

北海道 北見市長 辻 直孝

北海道 留萌市長 中西 俊司

北海道 稚内市長 工藤 広

北海道 倶知安町長 文字 一志

北海道 白老町長 戸田 安彦

2 東北ブロック

■代表幹事

岩手県 宮古市長 山本 正徳

■企画委員

青森県 八戸市長 熊谷 雄一

岩手県 宮古市長 山本 正徳

宮城県 白石市長 山田 裕一

秋田県 秋田市長 穂積 志

山形県 山形市長 佐藤 孝弘

福島県 南相馬市長 門間 和夫

3 関東ブロック

■代表幹事

東京都 稲城市長 高橋 勝浩

■企画委員

茨城県 龍ヶ崎市長 萩原 勇

栃木県 下野市長 広瀬 寿雄 (～令和4年8月5日)

坂村 哲也 (令和4年8月6日～)

群馬県 安中市長 茂木 英子 (～令和4年4月22日)
岩井 均 (令和4年4月23日～)

埼玉県 春日部市長 岩谷 一弘

千葉県 木更津市長 渡辺 芳邦

東京都 稲城市長 高橋 勝浩

神奈川県 厚木市長 小林 常良 (～令和5年2月22日)

山口 貴裕 (令和5年2月23日～)

山梨県 甲府市長 樋口 雄一

長野県 大町市長 牛越 徹

4 北陸ブロック

■代表幹事

新潟県 新潟市長 中原 八一

■企画委員

新潟県 新潟市長 中原 八一

富山県 氷見市長 林 正之

石川県 かほく市長 油野 和一郎

地方フォーラム

1 北海道フォーラム

■リーダー

高野 伸栄 北海道大学大学院工学研究院

■企画委員長

栗田 悟 (一社)北海道建設業協会

■企画委員

岡本 淳敏 勇建設(株)

中島 英治 伊藤組土建(株)

北見 実敏 伊藤組土建(株)

新沼 寛明 伊藤組土建(株)

河村 巧 岩田地崎建設(株)

横山 隆 (株)開発工営社

高宮 則夫 NPO法人公共環境研究機構

植村 豊樹 (株)構研エンジニアリング

伊藤 捨雄 コンクリート・鋼構造物超耐久化工法研究会

嵯峨 輝幸 嵯峨秀栄測量設計(株)

中里 修二 サンエスホールディングスグループ

伊藤 公彦 (株)シビテック

工藤 理恵子 積水ハウス(株)

川満 隆弘 ダイキ工業(株)

加藤 貴博 (株)ダイヤコンサルタント

深見 純 (株)ティーネットジャパン

松井 伸頼 東亜道路工業(株)

向井 直樹 (株)ドールン

阿部 幸康 (株)土木技術コンサルタント

大石 学 (株)中山組

竹内 正志 (株)西原環境

高橋 守人 西江建設(株)

三井 功如 西松建設(株)

内海 正徳 ニチレキ(株)

古橋 浩太 日鉄物産(株)

大丸 亘 日鉄物産ワイヤ&ウエルディング(株)

沼田 寛 (株)ノース技研

青野 純一 北電総合設計(株)

齋藤 恒雄 (株)南組

盛山 拓也 (株)メイセイ・エンジニアリング

■オブザーバー

大堀 正人 (株)日立ソリューションズ

高橋 千里 (同)スマートウォーター

■企画委員

小野 泰太郎 (株)小野建築研究所

野木 雄治 (株)小野工業所

阿部 裕彰 鹿島建設(株)

新銀 武 (株)中央コーポレーション

河野 正和 東亜道路工業(株)

今野 光博 東亜道路工業(株)

中村 寛 東亜道路工業(株)

石倉 武幸 東急建設(株)

高橋 秀輔 戸田建設(株)

宮本 圭司 戸田建設(株)

村山 岳志 ニチレキ(株)

金子 雅明 パシフィックコンサルタンツ(株)

小笠原 光博 (株)福高組

林 昭宏 (株)フジタ

後藤 和彦 (株)復建技術コンサルタント

■オブザーバー

阿部 雅人 (株)ベイスンコンサルティング

大石 健二 パシフィックコンサルタンツ(株)

田村 裕美 (一社)ソーシャルテクニカ

4 北陸インフラメンテナンスフォーラム

■企画委員

嶋田 浩一 (株)熊谷組

池田 省吾 ニチレキ(株)

若尾 明弘 エヌシーイー(株)

湯川 雅昭 三和ボーリング(株)

山崎 寛史 木下建工(株)

小林 徹 (株)レックス

田村 康裕 開発技建(株)

脇坂 哲也 大日本コンサルタント(株)

笹谷 輝彦 (株)国土開発センター

浦田 孔二 (株)日本海コンサルタント

砂田 良和 東亜道路工業(株)

■オブザーバー

大島 邦彦 (株)熊谷組

熊倉 信行 東芝環境ソリューション(株)

鈴木 泉 (株)ガイアート

5 中部フォーラム

■リーダー

原田 和樹 日本工営都市空間(株)

■企画委員

鈴木 正樹 中央コンサルタンツ(株)

安立 寛 (株)オリエンタルコンサルタンツ

内山 真人 (株)オリエンタルコンサルタンツ

細江 育男 大日コンサルタント(株)

那須 聖志郎 大日コンサルタント(株)

杉原 啓介 大日コンサルタント(株)

榮義彦 日本工営都市空間(株)

名知 幹弘 中央コンサルタンツ(株)

中村 浩二 戸田建設(株)

伊藤 貴宏 戸田建設(株)

田中 伸介 ニチレキ(株)

山本 康博 ニチレキ(株)

吉田 典明 日本工営(株)

鈴木 健吾 (株)フジヤマ

海野 剛司 (株)フジヤマ

青島 健 (株)フジヤマ

水津 紀陽 八千代エンジニアリング(株)

伊藤 均 八千代エンジニアリング(株)

沼田 良輝 ホーメックス(株)

古澤 栄二 (株)テイク

田中 実 東亜道路工業(株)

柳沼 宏信 東亜道路工業(株)

■オブザーバー

吉田 典明 日本工営(株)

5 中部ブロック

■代表幹事

静岡県 静岡市長 田辺 信宏

■企画委員

岐阜県 大野町長 宇佐美 晃三
静岡県 静岡市長 田辺 信宏
愛知県 豊川市長 竹本 幸夫
三重県 南伊勢町長 上村 久仁

6 近畿ブロック

■代表幹事

兵庫県 養父市長 広瀬 栄

■企画委員

福井県 鯖江市長 佐々木 勝久
滋賀県 大津市長 佐藤 健司
京都府 京田辺市長 上村 崇
大阪府 高石市長 阪口 伸六

兵庫県 養父市長 広瀬 栄
奈良県 宇陀市長 金剛 一智
和歌山県 和歌山市長 尾花 正啓

7 中国ブロック

■代表幹事

岡山県 総社市長 片岡 聡一

■企画委員

鳥取県 鳥取市長 深澤 義彦
島根県 益田市長 山本 浩章
岡山県 総社市長 片岡 聡一
広島県 呉市長 新原 芳明
山口県 周南市長 藤井 律子

8 四国ブロック

■代表幹事

高知県 須崎市長 楠瀬 耕作

■企画委員

徳島県 美波町長 影治 信良
香川県 坂出市長 有福 哲二
愛媛県 西条市長 玉井 敏久
高知県 須崎市長 楠瀬 耕作

9 九州・沖縄ブロック

■代表幹事

熊本県 熊本市長 大西 一史

■企画委員

福岡県 柳川市長 金子 健次
佐賀県 武雄市長 小松 政
長崎県 佐世保市長 朝長 則男
熊本県 熊本市長 大西 一史
大分県 日田市長 原田 啓介
宮崎県 宮崎市長 清山 知憲
鹿児島県 鹿屋市長 中西 茂
沖縄県 浦添市長 松本 哲治

6 近畿本部フォーラム

■リーダー

片岡 信之 (一社)国土政策研究会

■企画委員

霜上 民生 (一社)国土政策研究会
板倉 信一郎 (一社)国土政策研究会
宮原 正和 (一社)国土政策研究会
東 定生 (一社)国土政策研究会
印南 亮一 (一社)国土政策研究会
岡崎 創太郎 (一社)国土政策研究会
河野 千代 (一社)国土政策研究会
福岡 成和 (一社)国土政策研究会
新田 耕司 (一社)国土政策研究会
楠本 博 (一社)国土政策研究会
多田 成宏 (一社)国土政策研究会
西岡 勉 (一社)国土政策研究会
長澤 大次郎 (一社)国土政策研究会
川村 勝 (一社)国土政策研究会
郭 慶煥 (一社)国土政策研究会
坂野 昌弘 (特非)橋守支援センター
川上 隆 (一社)近畿建設協会
宮崎 勝敏 (公財)大阪府都市整備推進センター

■オブザーバー

奥田 早希子 (一社)Water-n

天満 真士 復建調査設計(株)
竹川 真理子 富士通Japan(株)
丹羽 健介 (株)Roop's
■オブザーバー
鈴木 泉 (株)ガイアート

8 四国地方フォーラム

■リーダー

矢田部 龍一 愛媛大学

■企画委員

庵原 伸二 (一社)四国クリエイト協会
栗原 弘和 (株)四電技術コンサルタント
妹尾 正也 四国建設コンサルタント(株)
大野 二郎 (株)芙蓉コンサルタント
濱田 拓也 (株)第一コンサルタント
松下 征司 ニチレキ(株)
新濱 光夫 徳島県
小笠原 克典 香川県
橋本 博史 愛媛県
岡本 通伸 高知県

■オブザーバー

大島 邦彦 (株)熊谷組
笹谷 達也 日鉄高炉セメント(株)
田村 裕美 (一社)ソーシャルテクニカ

吉田 鉄治 (一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
黒崎 光宏 (一社)日本建設業連合会 九州支部
大園 一光 (一社)日本建設業連合会 九州支部
片山 英資 (一社)ツタワルドボク
山川 武春 (一社)九州橋梁・構造工学研究会
藤島 義久 (公社)日本技術士会 九州本部
西田 耕一 (一社)九州建設技術管理協会
西山 博美 (一社)プレストレストコンクリート建設業協会九州支部
白川 誠司 (一社)日本橋梁建設協会九州事務所
西 保幸 (一社)九州地方計画協会
川神 雅秀 (同)防災構造工学研究所
長 信史 大日本コンサルタント(株)
瀧村 哲之進 アース建設コンサルタント(株)
池内 勝吾 アース建設コンサルタント(株)
岩 慎二郎 (株)麻生
坂爪 康展 応用地質(株)
吉田 真治 応用地質(株)
岩永 信太郎 戸田建設(株)
渡邊 泰幸 西松建設(株)
山口 齊 西松建設(株)
小野寺 陵太郎 ニチレキ(株)
野上 和彦 (株)福山コンサルタント
池田 喜輝 (株)福山コンサルタント
花岡 信一 前田建設工業(株)
青柳 貢司 前田建設工業(株)
川添 公貴 前田建設工業(株)
佐久間 智恵 第一復建(株)
藤井 乙貴 西日本技術開発(株)

■オブザーバー

熊倉 信行 東芝環境ソリューション(株)
笹谷 達也 日鉄高炉セメント(株)
鈴木 泉 (株)ガイアート
若木 和雄 日進工業(株)

7 「ちゅうごく」(中国フォーラム)

■リーダー

藤井 堅 広島大学

■メンター

宮本 文穂 山口大学
赤木 恭吾 岡山大学大学院

■企画委員

藤井 友行 復建調査設計(株)
菱垣 嘉朗 大林道路(株)
狩屋 雅之 岡山県立岡山工業高等学校
岩本 康弘 (株)ガイアート
前土井 寛之 格正建設(株)
紀 淳 (株)熊谷組
秋田 英次 山陽ロード工業(株)
高野 輝浩 NPO法人 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
廣田 和道 戸田建設(株)
井上 智章 ニチレキ(株)
若木 和雄 日進工業(株)
奥村 享作 (株)フジタ
清水 祐介 富士通(株)

9 九州フォーラム

■リーダー

日野 伸一 (一社)九州建設技術管理協会

■企画委員

園田 佳巨 九州大学大学院工学研究院
松田 浩 長崎大学
高橋 和雄 長崎大学
中村 聖三 長崎大学
山口 浩平 長崎大学
大塚 久哲 (株)大塚社会基盤総合研究所
牧角 龍憲 (一社)NME研究所
山尾 敏孝 熊本大学
中澤 隆雄 (特非)宮崎社会基盤保全技術研究所
武若 耕司 (一社)構造物診断技術研究会
久保 喜延 九州工業大学
山口 栄輝 九州工業大学
赤星 文生 (一社)九州地域づくり協会
久留 省二 (一社)九州地域づくり協会
福島 宏治 (一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
柳田 誠二 (一社)建設コンサルタンツ協会九州支部

10 沖縄フォーラム

■リーダー

有住 康則 琉球大学

■企画委員

下里 哲弘 琉球大学
多嘉良 斉 (一社)沖縄県測量建設コンサルタンツ協会
萩野 千晶 西日本高速道路(株)
金城 博 (一社)沖縄しまたて協会
未光 勇次 (一社)日本道路建設業協会 沖縄支部
新垣 雅寛 沖縄県
大城 勉 (公財)沖縄県建設技術センター

■オブザーバー

岩佐 宏一 (公社)ファシリティマネジメント協会

令和4年度インフラメンテナンス国民会議総会

インフラメンテナンス国民会議は、我が国の全てのインフラメンテナンスの円滑な実施を目標とし、それを支援するために必要な産学官民のプラットフォームを運営するとともに、インフラメンテナンスの円滑な実現に向け必要な事業を行っています。



齊藤 鉄夫氏
(国土交通大臣)



高橋 勝浩氏
(市区町村長会議 代表幹事
／稲城市長)



吉田 典明氏
(国民会議 実行委員)



岩城 一郎氏
(土木学会インフラメンテナンス総合委員会
アクティビティ部会長／日本大学工学部
工学研究所長、土木工学科教授)

会長挨拶

地方自治体のインフラメンテナンス推進に向けて、必要となる市区町村の広域的連携によるマネジメントの展開。



富山 和彦
インフラメンテナンス国民会議 会長

インフラメンテナンスの国民会議は平成28年11月に設立し、令和4年12月で7年目に入りました。設立当初、199者だった会員は2,700者以上まで増えてまいりました。特に、行政会員の増加は顕著で、全国総数1,788となる地方公共団体の7割以上、約1,300団体に参加いただいております。

各地方フォーラムでは、地方自治体のニーズと民間のニーズのマッチングを行うピッチイベント、情報発信共有を行うフォーラム等を展開しており、コロナウイルスの状況を踏まえ感染防止対策を十分に行い、オンラインやリモートなどウェブ併用のメリットを教示しながら、今活動を活発に展開しております。

国民会議における重要な目的の一つとして活動している地方自治体の支援について、今後さらに地方自治体において効率的・効果的なメンテナンスの推進を後押しする組織として、インフラメンテナンス市区町村長会議を令和4年4月に設立しております。市区町村長によるメンテナンスに関する意見交換も始まっており、今後の活動に大いに期待しております。

令和4年12月には、社会資本メンテナンス戦略小委員会により今後のメンテナンスのあり方に関する提言が取りまとめられました。複数市区町村の広域的な連携で複数広域

他分野のインフラをマネジメントするという画期的で新しい考え方は、従来の方向に対する大展開ですが、絶対に必要な展開だと思っていますので、この提言が今後活かされることを心より期待し、祈念しているところであります。

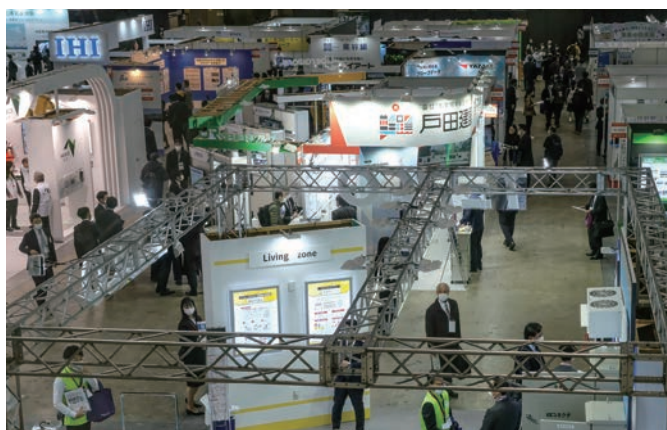
最後に、多数な主体が集うプラットフォームである国民会議が実りある活動でありますよう、皆様に積極的なご参画、ご協力いただくようお願いいたします。

日時	令和4年12月7日(水) 13:00~13:50
場所	東京ビッグサイト 東4ホール カンファレンスステージ
プログラム	<p>祝辞</p> <p>齊藤 鉄夫(国土交通大臣)</p> <p>会長あいさつ</p> <p>富山 和彦(インフラメンテナンス国民会議 会長／ 株経営共創基盤IGPIグループ会長)</p> <p>市区町村長会議代表幹事あいさつ</p> <p>高橋 勝浩(インフラメンテナンス市区町村長会議 代表幹事／稲城市長)</p> <p>決議事項</p> <p>役員、実行委員の選任／実施要領の変更</p> <p>国民会議の概要説明</p> <p>吉田 典明(インフラメンテナンス国民会議 実行委員)</p> <p>特別講演</p> <p>「地方インフラのメンテナンスは産学官民の総力戦で!」</p> <p>岩城 一郎(土木学会インフラメンテナンス総合委員会 アクティビティ部会長／日本大学工学部工学研究所長、 土木工学科教授)</p>

社会インフラテック2022

インフラメンテナンス国民会議と日本経済新聞社は、令和4年12月7日から9日までの3日間、東京ビッグサイトにて「社会インフラテック2022」を開催しました。リアル展とオンライン展のハイブリッド形成で開催し、カンファレンスステージでは、インフラメンテナンス国民会議総会をはじめ、インフラ維持管理・老朽化対策に関するこれまでの取組や今後のあり方などをテーマとしたプログラムを実施しました。

また、展示ブースでは、インフラメンテナンス国民会議ブースを設け、パネルや映像を通じて本会議の活動や取組を紹介するとともに、国民会議実行委員がコンシェルジュとして来場者への説明や相談に応じました。



社会インフラテック2022会場の様子



斉藤鉄夫国土交通大臣による視察の様子



インフラメンテナンス国民会議展示ブース



主催者企画ブース(市民参画フォーラム)



インフラメンテナンス国民会議オンライン展ページ



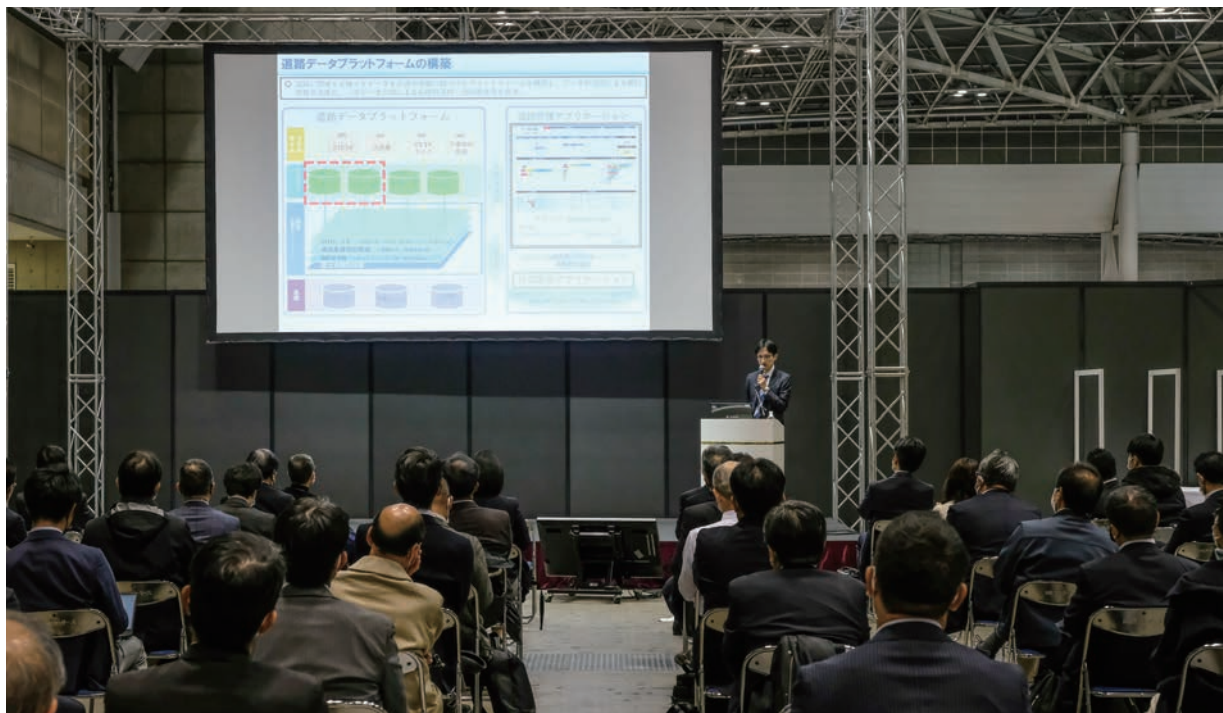
インフラメンテナンス国民会議 紹介パネル



- 日時** 令和4年12月7日(水)~9日(金)の3日間
- 場所** 東京ビッグサイト 東4ホール
- 展示規模** 31社・団体
- 来場者数** 約61,500人(3日間合計)(同時開催展「エコプロ、社会インフラテック、カーボンニュートラルテック、自然災害対策展/ウェザーテック」との合計)
- 主催** インフラメンテナンス国民会議、日本経済新聞社、日経BP
- 後援** 国土交通省、内閣府、経済産業省、環境省、文部科学省、厚生労働省、警察庁、土木学会

道路メンテナンスのこれから ~ 笹子10年から"xRoad"へ ~

平成24年12月に発生した中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故から10年が経過したことを節目に、当時から現在までの道路メンテナンスの経過や、効率的なメンテナンスに道路データプラットフォームの開発など効率的なメンテナンスを実現する新技術などの紹介を行いました。



道路メンテナンスの新技術等に関する紹介の様子



木村 康博氏
(国土交通省 道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室長)



新田 恭士氏
(国土交通省 道路局 国道・技術課 技術企画室長)



松實 崇博氏
(国土交通省 道路局 国道・技術課 技術企画室 課長補佐)

日時 令和4年12月7日(水) 11:00~12:00

場所 東京ビッグサイト 東4ホール カンファレンスステージ

プログラム 「道路メンテナンスの10年とこれから」

木村 康博(国土交通省道路局国道・技術課道路メンテナンス企画室長)

「道路メンテナンスの新技術と社会実装に向けた取組」

新田 恭士(国土交通省道路局国道・技術課技術企画室長)

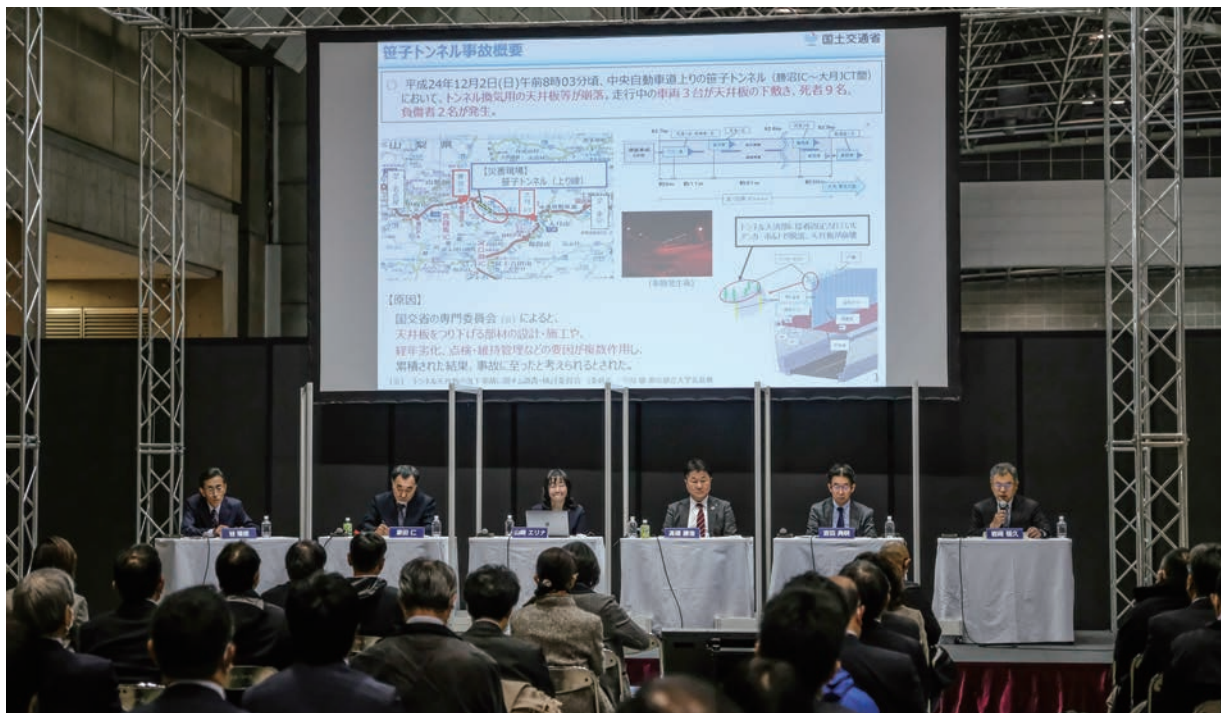
「道路システムのDX "xRoad" と全国道路施設点検データベース」

松實 崇博(国土交通省 道路局 国道・技術課 技術企画室 課長補佐)

《社会インフラテック2022》

本音のインフラメンテナンス ～これまでの取組・今後のあり方～

インフラメンテナンスの更なる展開のため、平成24年12月の笹子トンネル天井板崩落事故発生からこれまでのメンテナンスにおける取組・課題を共有し、今後の効果的かつ効率的なメンテナンスを推進していくための今後のあり方について意見交換を行いました。



パネルディスカッションの様子



谷 隆徳氏
(日本経済新聞社 編集委員)



家田 仁氏
(政策研究大学院大学 特別教授)



山崎 エリナ氏
(写真家)



高橋 勝浩氏
(インフラメンテナンス市区町村長会議 代表幹事/稲城市長)



吉田 典明氏
(インフラメンテナンス国民会議 実行委員)



岩崎 福久氏
(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)

日時 令和4年12月7日(水) 14:05~15:25
場所 東京ビッグサイト 東4ホール カンファレンスステージ
プログラム コーディネーター

谷 隆徳(日本経済新聞社 編集委員)

パネリスト

家田 仁(政策研究大学院大学 特別教授)

高橋 勝浩(インフラメンテナンス市区町村長会議 代表幹事/稲城市長)

吉田 典明(インフラメンテナンス国民会議 実行委員)

岩崎 福久(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)

山崎 エリナ(写真家)

高専生が経営トップに聞くインフラメンテナンス

インフラメンテナンスの将来を担う若者と経営トップとの意見交換の場として、これまで「インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」に出場した高専生等の方に登壇いただき、インフラメンテナンスに関する課題を共有しながらディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子



奥田 早希子氏
(一般社団法人Water-n代表理事/
インフラマネジメントテクノロジー
コンテストPR部会長)



由木 文彦氏
(東日本高速道路株式会社
代表取締役社長)



小又 寛也氏
(東京工業大学 環境・社会理工学院
融合理工学系)



河原 達哉氏
(松江工業高等専門学校
生産・建設システム工学専攻)



山根 秀太氏
(徳山工業高等専門学校
土木建築工学科)

日時 令和4年12月7日(水) 15:50~17:00

場所 東京ビッグサイト 東4ホール カンファレンスステージ

プログラム コーディネーター

奥田 早希子(一般社団法人Water-n代表理事/インフラマネジメントテクノロジーコンテストPR部会長)

パネリスト

由木 文彦(東日本高速道路株式会社 代表取締役社長)

小又 寛也(東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系)

山根 秀太(徳山工業高等専門学校 土木建築工学科)

河原 達哉(松江工業高等専門学校 生産・建設システム工学専攻)

《社会インフラテック2022》

自治体の取組紹介 ～いかにして取組を進めたか～

自治体が実施するインフラメンテナンスに関する先駆性や展開性のある取組について、取組の背景や実施内容等を各自治体代表に紹介いただきました。

これらの好事例が全国の自治体に広がっていくことを期待します。



自治体の取組紹介の様子



鈴木 宏一郎氏
(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 アセットマネジメント企画調整官)



加藤 淳氏
(福島県 宮下土木事務所 所長)



中山 幸徳氏
(奈良県 県土マネジメント部 道路保全課 保全整備係長)



高木 保広氏
(茨城県稲敷市 土木管理部建設課 係長)



戸澤 俊介氏
(千葉市 市民局 市民自治推進部 広報広聴課 主任主事)

日時 令和4年12月8日(木) 10:30~12:00

場所 東京ビッグサイト 東4ホール カンファレンスステージ

プログラム 「国土交通省における取り組み紹介」

鈴木 宏一郎(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 アセットマネジメント企画調整官)

「包括的民間委託の取組内容について」 加藤 淳(福島県 宮下土木事務所 所長)

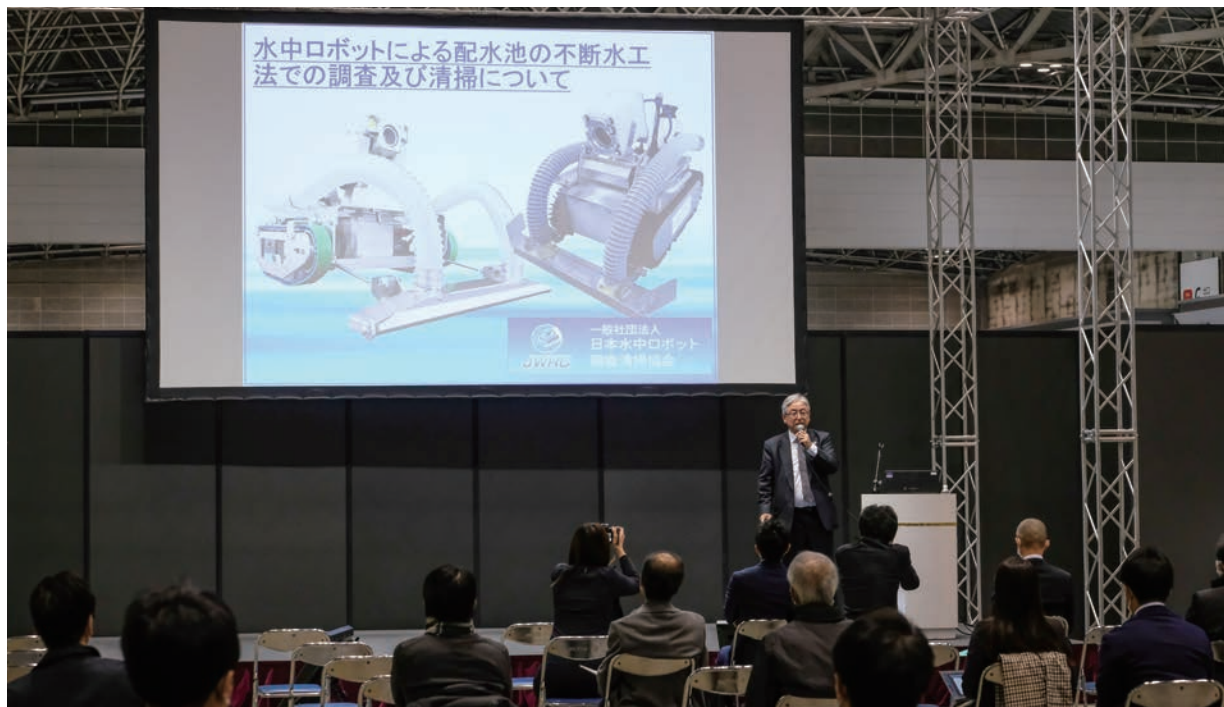
「『奈良モデル』における広域連携の取組について」 中山 幸徳(奈良県 県土マネジメント部 道路保全課 保全整備係長)

「新利根橋における集約・再編の取組について」 高木 保広(茨城県稲敷市 土木管理部建設課 係長)

「ちばレポにおける取組について」 戸澤 俊介(千葉市 市民局 市民自治推進部 広報広聴課 主任主事)

インフラメンテナンスのグッドプラクティスの展開

第5回インフラメンテナンス大賞において、国土交通大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞を受賞された方々より技術の概要や開発過程における工夫、苦勞した点などについて紹介していただきました。



インフラメンテナンス大賞を受賞した取組紹介の様子



原田 駿平氏
(国土交通省 総合政策局
公共事業企画調整課 調整官)



田原 保氏(オンライン)
(北陸電力送配電株式会社
電力流通部 通信チーム統括課長)



田中 芳章氏
(一般社団法人 日本水中ロボット
調査清掃協会 会長)



中嶋 勇氏(オンライン)
(国立研究開発法人農業・食品産業技術
総合研究機構 農村工学研究部門
施設工学研究領域研究領域長)



佐川 徳和氏
(高知県四万十市 産業建設課
産業建設課長)



池田 直隆氏
(株式会社南紀白浜エアポート
オペレーションユニット長)

日時 令和4年12月9日(金) 10:30~12:00

場所 東京ビッグサイト 東4ホール カンファレンスステージ

プログラム 「国土交通省における取り組み紹介」 原田 駿平(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 調整官)
「支障木調査の省力化のためのドローン活用」 田原 保(北陸電力送配電株式会社 電力流通部 通信チーム統括課長)
「水中ロボットによる配水池の不断水工法での調査および清掃」 田中 芳章(一般社団法人 日本水中ロボット調査清掃協会 会長)
「腐食した『集水井』の内巻補強工法-老朽化した集水井を容易・迅速に補強」
中嶋 勇(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 施設工学研究領域 研究領域長)
「清流四万十川の景観、文化、日常を構成する岩間沈下橋を後世に残す活動」 佐川 徳和(高知県四万十市 産業建設課 産業建設課長)
「ドライブレコーダーを活用した空港滑走路の調査及び点検」 池田 直隆(株式会社南紀白浜エアポート オペレーションユニット長)

《社会インフラテック2022》

海外市場展開フォーラムの取り組みと海外展開事例紹介

メンテナンス分野における国内企業の海外展開を図るインフラメンテナンス国民会議海外市場展開フォーラムの取組紹介をはじめ、企業の海外進出事例を紹介いただきました。



海外展開事例紹介の様子



富澤 洋介氏
(国土交通省 総合政策局
海外プロジェクト推進課 企画専門官)



佐々木 栄洋氏
(株式会社栄組 代表取締役)



谷内 洋之(オンライン)
(西日本高速道路株式会社
インドネシア事務所 所長)

日時 令和4年12月9日(金) 13:00~13:40

場所 東京ビッグサイト 東4ホール カンファレンスステージ

プログラム 富澤 洋介(国土交通省 総合政策局 海外プロジェクト推進課 企画専門官)

佐々木 栄洋(株式会社栄組 代表取締役)

谷内 洋之(西日本高速道路株式会社 インドネシア事務所 所長)

インフラメンテナンス市区町村長会議

インフラメンテナンスに高い関心を持つ市区町村長が自ら構成員となる「インフラメンテナンス市区町村長会議」を設立しました。

目的

- ・ 首長同士の意見交換による、メンテナンスに関する知見や意識の向上
- ・ トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進
- ・ 社会に対するインフラメンテナンスの必要性の啓発



インフラメンテナンス市区町村長会議 設立式典(令和4年4月28日)の様子

設立宣言

我が国では高度経済成長期に道路、河川、港湾、上下水道等のインフラ構造物が集中して整備されたが、近年、その老朽化が加速度的に進んでおり、老朽化に起因する事故等の発生が社会問題化している。

インフラ構造物は、私たちが日常生活や経済活動を営む上で、無くてはならない存在であるが、これらの老朽化に起因する事故等は直接的に人命にも関わる重大な問題である。また、災害をもたらす自然現象が発生した場合においても、インフラ機能が発揮できるように、防災・減災の観点からもメンテナンスを考える必要がある。

以上を踏まえると、地域住民の安全・安心に直接責任を有する基礎自治体である市区町村にとって、インフラメンテナンスの適切な実施は非常に重要な政策課題であり、SDGs(持続可能な開発目標)の達成にも資するものである。

しかしながら、特に市区町村においては、インフラメンテナンスの推進にあたり、「予算の制約」、「技術職員の不足」、「知識・技術などのノウハウの取得」などに大きな問題を抱えている。このような状況に鑑み、インフラメンテナンスに高い関心を持つ市区町村長が自ら構成員となる「インフラメンテナンス市区町村長会議」を設立し、以下の取組に全力を尽くすことをここに誓う。

— インフラメンテナンス市区町村長会議は、インフラメンテナンス国民会議と連携しながら、今後のインフラメンテナンスについて議論を深め、構成員の知見や意識を高めます。

— インフラメンテナンス市区町村長会議の構成員は、持続可能なインフラメンテナンスの実現を通じて、地域の将来像を見据えたインフラのマネジメントをトップダウンにより推進します。

— インフラメンテナンス市区町村長会議は、豊かな国民生活と経済活動を支えるサービスの基盤であるインフラとそのメンテナンスの重要性を国民・市民に訴えていきます。

「インフラメンテナンス市区町村長会議」 設立式典

日時 令和4年4月28日(木) 13:30~15:00

場所 全電通労働会館(東京都千代田区)
※オンライン併用

参加者 出席者約80名、WEB視聴約400名
(市区町村長会議 構成員、都道府県、整備局等)

プログラム

式辞

富山 和彦(インフラメンテナンス国民会議会長/
株式会社経営共創基盤(IGPI) IGPIグループ会長)

設立宣言

高橋 勝浩(インフラメンテナンス市区町村長会議
代表幹事/稲城市長)

来賓祝辞

泉田 裕彦(国土交通大臣政務官)
立谷 秀清(全国市長会長/相馬市長)
荒木 泰臣(全国町村会長/嘉島町長)

市区町村長会議の概要説明

(市区町村長会議 代表幹事事務局)

各ブロックからの発表

(ブロック幹事)

講話

「社会資本メンテナンス元年」から10年
~市区町村への期待~

家田 仁(インフラメンテナンス国民会議 副会長/
政策研究大学院大学 特別教授)

《インフラメンテナンス市区町村長会議》

北海道ブロック

インフラメンテナンス市区町村長会議北海道ブロック会議

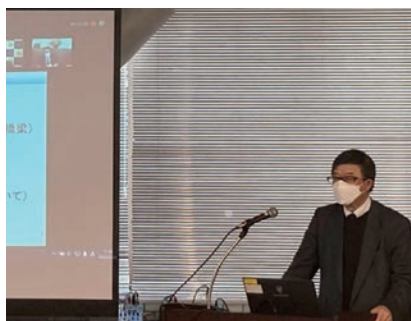
メンテナンスに高い関心を有する市区町村長で構成する「インフラメンテナンス市区町村長会議」が令和4年4月28日に設立したことを受け令和5年2月2日に、「インフラメンテナンス市区町村長会議北海道ブロック会議」を開催いたしました。

講演や意見交換会を実施し、市町村のインフラメンテナンスの現状と課題、重要性を共有し、メンテナンスに関する知見を地域が連携して活用できるように取り組んでいくことを確認しました。

- 日時** 令和5年2月2日(木) 10:30~12:00
- 場所** TKP札幌駅カンファレンスセンター(3Bホール)
- 参加者** 企画委員:10市町、構成員:55市町村、北海道
- プログラム** 幹事挨拶
 蝦名 大也(釧路市長/北海道ブロック幹事)
 来賓挨拶
 三上 隆(北海道大学名誉教授)
 高野 伸栄(北海道大学大学院工学研究院教授/
 北海道フォーラムリーダー)
 石塚 宗司(国土交通省北海道開発局長)
 廣瀬 健二郎(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課
 事業総括調整官)
 講演
 「北海道内におけるインフラメンテナンスの状況と支援について」
 三上 隆(北海道大学名誉教授)
 「国土交通省におけるインフラメンテナンスの取組」
 廣瀬 健二郎(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課
 事業総括調整官)
 意見交換会
 ●座長
 三上 隆(北海道大学名誉教授)
 ●企画委員
 蝦名 大也(釧路市長)
 戸田 安彦(白老町長、代理:副町長)
 秋元 克広(札幌市長、代理:副市長)
 米沢 則寿(帯広市長)※オンライン
 工藤 壽樹(函館市長、代理:副市長)
 辻 直孝(北見市長)※オンライン
 文字 一志(倶知安町長)※オンライン
 中西 俊司(留萌市長)※オンライン
 今津 寛介(旭川市長、代理:副市長)※オンライン
 工藤 広(稚内市長)※オンライン
 ※荒天によりWEB出席を推奨。
 ●土木学会北海道支部
 松本 浩嗣(土木学会インフラメンテナンス総合委員会
 北海道支部委員 北海道大学大学院工学研究院准教授)



蝦名大也釧路市長による
北海道ブロック幹事挨拶の様子



三上隆北大名誉教授による講演の様子



意見交換会の様子

東北ブロック

第1回東北ブロック市区町村長会議

インフラメンテナンスに高い関心を有する市区町村長で構成する「第1回東北ブロック 市区町村長会議」を岩手県宮古市で開催しました。

意見交換の中で、「インフラメンテナンスにおける自治体の現状や取組」、「市区町村長会議で取り組むべき事」をテーマに首長自らが意見を発信することで、トップダウンによるインフラメンテナンスの推進が期待されます。

また、東北フォーラムリーダーで土木学会東北支部副支部長の石川氏からはご講演及び意見交換においてインフラメンテナンスに関する多方面での連携の重要性についてお話をいただきました。

日時 令和4年12月20日(火) 15:00~17:00

場所 宮古市市民交流センター(岩手県)

参加者 会場出席:約70名

Web出席:約80名

(市区町村長会議 構成員(62自治体)、都道府県等)

プログラム

開会挨拶

山本 正徳(東北ブロック幹事/宮古市長)

来賓祝辞

岩崎 福久(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)

山本 巧 (国土交通省 東北地方整備局長)

講演

「国土交通省におけるインフラメンテナンスの取組」

岩崎 福久(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)

「包括的維持管理について」

加藤 淳(福島県 宮下土木事務所長)

「東北フォーラム及び土木学会の取り組みの紹介について」

石川 雅美(インフラメンテナンス国民会議)

東北フォーラムリーダー/土木学会 東北支部 副支部長)

意見交換会

山本 正徳(東北ブロック幹事/宮古市長)

熊谷 雄一(企画委員/八戸市長)※VTR参加

山田 裕一(企画委員/白石市長)

穂積 志 (企画委員/秋田市長)※VTR参加

佐藤 孝弘(企画委員/山形市長)※Web参加

門馬 和夫(企画委員/南相馬市長)

石川 雅美(インフラメンテナンス国民会議)

東北フォーラムリーダー/土木学会 東北支部 副支部長)



ブロック幹事(宮古市長)による
開会挨拶の様子



意見交換会の様子



閉会後の記念写真

《インフラメンテナンス市区町村長会議》

関東ブロック

インフラメンテナンス市区町村長会議関東ブロック

関東ブロックにおけるインフラメンテナンスに関心を有する市区町村長で構成する「インフラメンテナンス市区町村長会議 関東ブロック」を開催しました。

この会議では、インフラメンテナンスの重要性・現状課題について共有し、持続可能なインフラメンテナンスの実現がトップダウンにより更なる推進が図られることを目的に、全国的な取り組みの紹介や各首長より各地方自治体が抱えるインフラメンテナンスの課題や展望が話し合われました。

日時 令和5年1月30日(月) 10:00~11:50

場所 ホテルプリランテ武蔵野 2F エメラルドC

参加者 会場参加 52名(自治体等 37名)

WEB参加 59名(自治体等 30名)

プログラム 開会挨拶

高橋 勝浩(インフラメンテナンス市区町村長会議 関東ブロック幹事
／稲城市長)

村越 潤(関東地方フォーラムリーダー／東京都立大学教授)

小林 賢太郎(国土交通省 関東地方整備局 企画部長)

講演

インフラメンテナンスに関する取組紹介

岩崎 福久(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)

首長による「地方自治体が抱えるインフラメンテナンスの課題と展望」

萩原 勇(茨城県龍ヶ崎市長)

坂村 哲也(栃木県下野市長)

岩井 均(群馬県安中市長)

岩谷 一弘(埼玉県春日部市長)

渡辺 芳邦(千葉県木更津市長)※ビデオ出演

高橋 勝浩(東京都稲城市長)

樋口 雄一(山梨県甲府市長)※ビデオ出演

牛越 徹(長野県大町市長)

講話

「過酷な自然災害・劣化環境にある日本のインフラメンテナンスの難しさ」

秋山 充良(早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会環境工学科 教授)



東京都稲城市長
高橋 勝浩



茨城県龍ヶ崎市長
萩原 勇



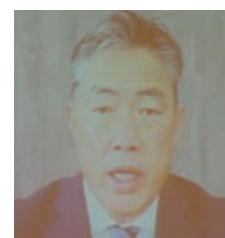
栃木県下野市長
坂村 哲也



群馬県安中市長
岩井 均



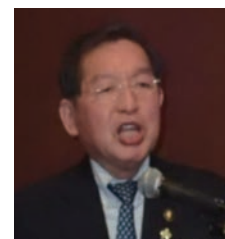
埼玉県春日部市長
岩谷 一弘



千葉県木更津市長
渡辺 芳邦 (ビデオ主演)



山梨県甲府市長
樋口 雄一 (ビデオ出演)



長野県大町市長
牛越 徹



早稲田大学 理工学術院創造理工学部
社会環境工学科 教授
秋山 充良



会場の様子

北陸ブロック

第1回北陸ブロックインフラメンテナンス市区町村長会議

今年4月28日に全国組織として設立した「インフラメンテナンス市区町村長会議」を受け、8月9日に「第1回北陸ブロックインフラメンテナンス市区町村長会議」が開催され、北陸ブロック内の関係首長等が出席されました。

会議ではインフラメンテナンスの重要性・現状課題について共有し、持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて、トップダウンにより力強く推進していくことを確認しました。

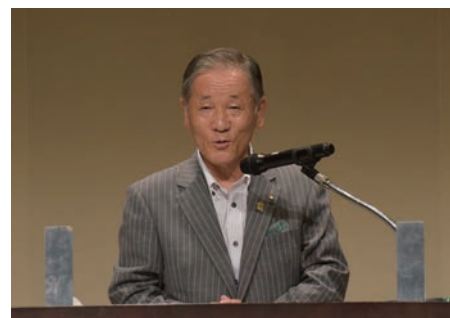
- 日時** 令和4年8月9日(火) 13:30~14:30
場所 新潟県民会館 小ホール※WEB併用
参加者 46市町村(うち、WEB参加:28市町村)
プログラム
- 式辞**
中原 八一(ブロック幹事/新潟市長)
- 開会宣言**
林 正之(企画委員/氷見市長)
- 来賓祝辞**
岩崎 福久(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)
内藤 正彦(国土交通省 北陸地方整備局長)
※代理:池田 裕二(北陸地方整備局 企画部長)
- 概要説明**
※「北陸ブロックインフラメンテナンス市区町村長会議」について紹介
講演
『インフラメンテナンスに関する取組の現状』
岩崎 福久(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)
土木学会からの取り組み紹介
市長村長からのご発言(本会議への期待)
高橋 邦芳(新潟県村上市市長)
藤井 裕久(富山県富山市市長)
粟 貴章(石川県野々市市長)
- 閉会挨拶**
油野 和一郎(企画委員/かほく市長)



式辞(新潟市長)



開会宣言(氷見市長)



閉会挨拶(かほく市長)

《インフラメンテナンス市区町村長会議》

中部ブロック

中部ブロック・インフラメンテナンス講習会

第1回中部ブロック・インフラメンテナンス市区町村長会議の開催に併せ、同会議会員と管内自治体職員向けの講習会を（公社）土木学会中部支部、中部地方整備局と連携し、実行委員会形式で開催しました。

講習会では、企画委員である静岡市長（ブロック幹事）、大野町長、豊川市長、南伊勢町長による取組み紹介を実施し、各自自治体の抱えるインフラメンテナンスの課題を共有しました。

また中部フォーラムの活動紹介も実施し、効率的・効果的なインフラメンテナンスの実現に向け、関係者が連携して取り組んでいくことを確認しました。

日時 令和4年12月23日（金）14:30～16:30

場所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 大ホール

参加者 159名（WEB参加47名含む）

プログラム 企画委員による各自自治体インフラメンテナンス取組み紹介

田辺 信宏（静岡県企画委員／ブロック幹事／静岡市長）

宇佐美 晃三（岐阜県企画委員／大野町長）

竹本 幸夫（愛知県企画委員／豊川市長）

上村 久仁（三重県企画委員／南伊勢町長）

中部フォーラム活動紹介

原田 和樹（インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム リーダー）

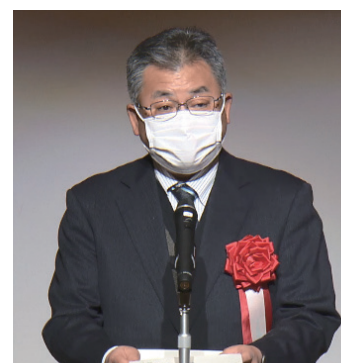
特別講演

「官民連携による公共空間の整備と維持管理・運用～草薙駅周辺地区～」

山本 洋平（一般社団法人 草薙カルテッド 共同代表）



田辺静岡市長の開会挨拶



岩崎公共事業企画調整課長の
来賓挨拶



講演会会場の様子

近畿ブロック

「インフラメンテナンス市区町村長会議近畿ブロック」第1回総会

近畿ブロックでは、今後市区町村長のメンテナンスに関する知見や意識の向上、トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進、社会に対するインフラメンテナンスの必要性の啓発等を目的として、先進的な事例の共有や、インフラメンテナンスの今後の方向性に関する意見交換、議論を踏まえたメッセージの発信などに取組んで参ります。

令和4年度は、設立後、初めての総会として、近畿ブロック各府県代表の企画委員による意見交換を通じて、各自治体の現状や取組み、今後の抱負を発信いたしました。

日時 令和4年5月20日(金) 10:30~12:30

場所 大阪市中央公会堂

参加者 岩見 吉輝(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)
豊口 佳之(国土交通省 近畿地方整備局 企画部長)
杉浦 邦征(京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻
構造物マネジメント工学講座 教授)
広瀬 栄(近畿ブロック幹事/兵庫県企画委員/養父市長)
佐々木 勝久(福井県企画委員/鯖江市長)
佐藤 健司(滋賀県企画委員/大津市長)
上村 崇(京都府企画委員/京田辺市長)
阪口 伸六(大阪府企画委員/高石市長)
金剛 一智(奈良県企画委員/宇陀市長)
越智 健吾(和歌山県企画委員)※代理:和歌山市副市長

プログラム

開会挨拶

広瀬 栄(近畿ブロック幹事/兵庫県企画委員/養父市長)

開会挨拶

岩見 吉輝(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)

記念講演

『市区町村の橋に生まれながらの不老長寿なし』

-安全安心は一日にしてならず、
維持修繕の継続が長寿の心得なり-

杉浦 邦征(京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻
構造物マネジメント工学講座 教授)

講演

『インフラメンテナンスに関する取組の現状』

岩見 吉輝(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)

意見交換会

●コーディネーター

豊口 佳之(国土交通省 近畿地方整備局 企画部長)

●パネリスト

広瀬 栄(近畿ブロック幹事/兵庫県企画委員/養父市長)

佐々木 勝久(福井県企画委員/鯖江市長)

佐藤 健司(滋賀県企画委員/大津市長)

上村 崇(京都府企画委員/京田辺市長)

阪口 伸六(大阪府企画委員/高石市長)

金剛 一智(奈良県企画委員/宇陀市長)

越智 健吾(和歌山県企画委員)※代理:和歌山市副市長

※役職は開催時のもの



開会挨拶の様子



意見交換会の様子



会場の様子

《インフラメンテナンス市区町村長会議》

中国ブロック

インフラメンテナンス市区町村長会議 第1回中国ブロック会議

地方自治体における効率的・効果的なインフラメンテナンスの推進を後押しする目的で令和4年4月28日にインフラメンテナンス市区町村長会議が設立されました。これを受け、中国ブロックにおけるメンテナンスの現状、課題を共有し、今後、トップダウンによるメンテナンス施策の更なる推進を図るとともに、社会に対するインフラメンテナンスの必要性の啓発を行うため、インフラメンテナンス市区町村長会議 第1回中国ブロック会議を開催しました。

- 日時** 令和5年1月31日(火) 13:00~14:30
- 場所** 広島YMCA国際文化ホール、オンライン併用
- 参加者** 296名[うち自治体116名]
(会場130名[うち自治体31名]、web166名[うち自治体85名])
- プログラム**
 - 開会
片岡 聡一(岡山県 総社市長/ブロック幹事)
 - 来賓祝辞
岩崎 福久(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)
森戸 義貴(国土交通省 中国地方整備局長)
 - 記念講演
藤井 堅(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」
フォーラムリーダー/広島大学 名誉教授)
 - 講演
岩崎 福久(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)
 - 各県市長(企画委員)発表
片岡 聡一(岡山県 総社市長)
山本 浩章(島根県 益田市市長)
新原 芳明(広島県 呉市長)
深澤 義彦(鳥取県 鳥取市長)※ビデオレター
藤井 律子(山口県 周南市長)※ビデオレター
 - 閉会
新原 芳明(広島県 呉市長)



ブロック幹事 総社市長 片岡聡一氏による開会挨拶の様子



広島大学 名誉教授 藤井堅氏による記念講演の様子



会場の様子



総社市長 益田市市長 呉市長
鳥取市長 周南市長
※ビデオレター ※ビデオレター

各県市長(企画委員)による発表の様子

四国ブロック

インフラメンテナンス市区町村長会議四国ブロック会議(総会)

地方自治体による効率的・効果的なインフラメンテナンスの実現を目的とし、四国4県の市町村長で構成される組織として、インフラメンテナンスにおける現状課題、重要性を共有し、メンテナンスに関する知見や意識を向上させるとともに、戦略的にマネジメントする体制の構築等に向け、第1回の四国ブロック会議を開催しました。また、同日に開催された産学官民が連携し、インフラメンテナンスの課題解決を目指す第4回四国地方フォーラムピッチイベントに参加しました。

日時 令和4年10月6日(木) 13:30~15:00

場所 高松サポート合同庁舎南館

参加者 約90名(52市町村)

プログラム 開会挨拶

楠瀬 耕作(ブロック幹事 高知県須崎市長)

祝辞

高橋 勝浩(インフラメンテナンス市区町村長会議代表幹事/
東京都稲城市長)

廣瀬 健二郎(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課
事業総括調整官)

荒瀬 美和(国土交通省 四国地方整備局長)

紹介

四国 土木部(オブザーバー)

ブロック幹事、企画委員、構成員

議事

令和4年度活動報告

令和5年度活動計画

講演

社会基盤ME養成講座

山本 浩司(愛媛大学防災情報研究センター特定教授)

事例発表

西条市におけるインフラメンテナンスの取組みについて

白石 公彦(愛媛県西条市建設部建設道路課主幹)

清流四万十川のシンボル「岩間沈下橋」がついに復活

森山 崇(高知県四万十市副市長)

閉会



ブロック幹事挨拶の様子



議事の様子



事例発表の様子

《インフラメンテナンス市区町村長会議》

九州・沖縄ブロック

「インフラメンテナンス市区町村長会議」九州・沖縄ブロック第1回ブロック会議の開催

急速に進むインフラの老朽化に対応するため、首長同士でネットワークを構築し、『危機感』の共有を図るとともにトップダウンによるインフラメンテナンスを強力に推進します。また、課題である「人材」、「財源」、「技術力」の確保に、的確に対応するため地域の方にもインフラメンテナンスの重要性を訴える必要があります。そのため以下の項目を目的とし、開催しています。

- ・インフラメンテナンスに関する先進事例等の情報共有と意見交換
- ・課題に対応するための新技術の導入推進
- ・インフラメンテナンスの必要性・重要性の発信

日時	令和4年10月12日(水) 10:00~
場所	福岡国際会議場4階 411・412会議室
参加者	熊本市長ほか地方自治体、九州フォーラム、国土交通省
プログラム	幹事挨拶 大西 一史(熊本市長) 来賓祝辞 藤巻 浩之(国土交通省九州地方整備局長) 来賓祝辞 廣瀬 健二郎(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 事業総括調整官) 講演 「地域の橋は地域で守る」 岩城 一郎(日本大学工学部工学研究所長/土木学会 インフラメンテナンス総合委員会 アクティビティ部会長) 九州フォーラムの紹介 日野 伸一(インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム リーダー) 各市におけるインフラメンテナンスの課題について (柳川市、佐世保市、日田市、武雄市、浦添市、鹿屋市、 宮崎市、熊本市) 意見交換会



廣瀬事業総括調整官総評の様子



各市におけるインフラメンテナンスの課題発表の様子



インフラメンテナンス市区町村長会議の様子

革新的技術フォーラム

革新的技術フォーラムは、施設管理者の課題に対して、会員が有する技術・サービス等について集約・情報提供を行うとともに、革新的技術の社会実装に向けた課題整理を行うという運営方針のもと、革新的技術の社会実装が進まないという課題に対処していきます。

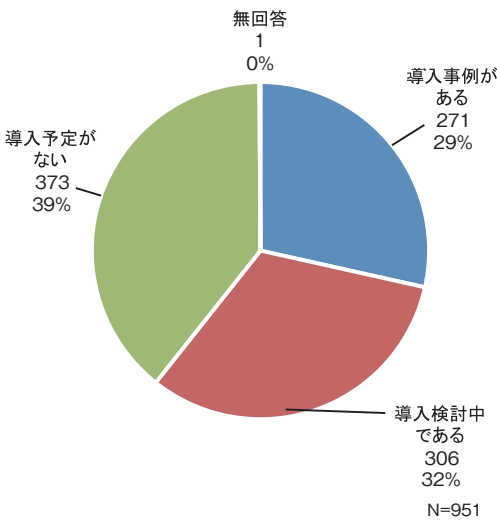
01 インフラ維持管理における新技術導入状況等に関するアンケート調査の実施

地方公共団体の新技術導入の促進に向けて、現状の新技術導入の傾向・分析などを目的として、インフラ維持管理における新技術導入状況等に関するアンケート調査を実施しました。

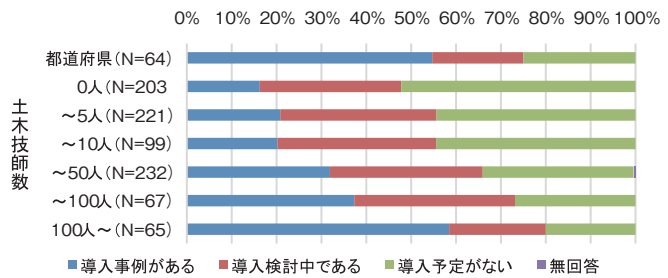
調査結果より、新技術の導入促進においては、新技術の費用縮減効果等の効果検証や、小規模自治体への導入促進支援が必要であることなどを把握しました。

日時 令和4年9月～10月
参加者 インフラメンテナンス国民会議 行政会員を対象(都道府県、市区町村)
プログラム <新技術の導入事例について>
 土木技師及び土木費が多い自治体ほど導入事例がある割合が高くなる傾向がある。
 <新技術の導入を断念した理由>
 新技術の導入を試みたが断念した自治体のうち、35%が「コスト縮減効果が見込まれなかった」という理由で断念している。

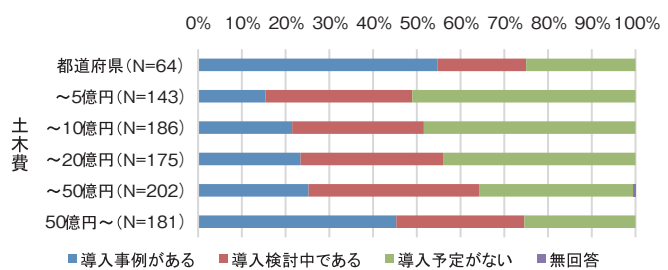
■新技術の導入事例（全体）



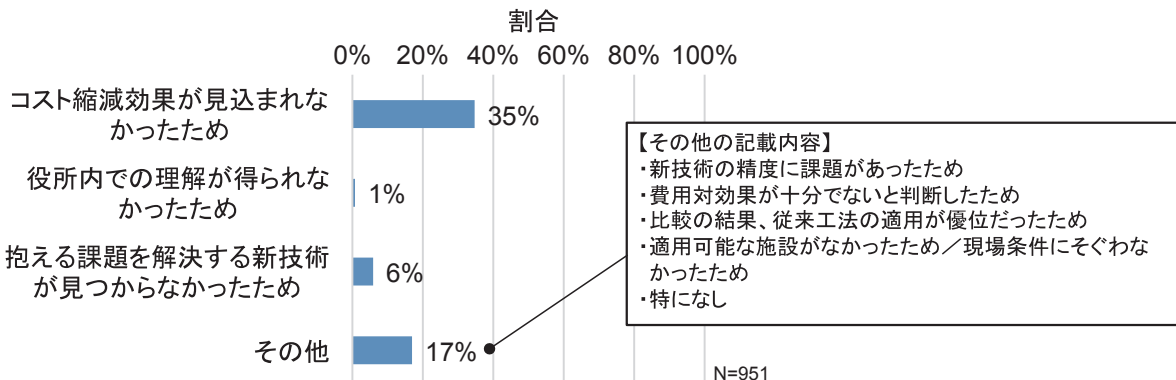
■新技術の導入事例（土木技師数別）



■新技術の導入事例（土木費別）



■新技術の導入を断念した理由【自由記述】



自治体支援フォーラム

自治体支援フォーラムは、インフラの多くを管理する自治体の支援を目的として、行政会員の持つ課題・ニーズ、好事例などの情報共有を行うとともに、包括的民間委託、技術者育成、広域連携などの制度・体制に関する全国的テーマについてのノウハウの情報交換等を行う活動を継続的に実施していきます。

01 自治体職員による意見交換会

自治体の施設管理者の方々が、インフラの維持管理における現状の課題や対策・対応について、本音の共有及び交流を深めてもらうことを目的に開催しました。インフラの維持管理における調達方法、費用、技術力、技術者等に関して、現状の取組状況の把握と、今後の対応や対策について、ワークショップ形式で意見交換を行い、ほかの自治体との間での情報を交換し、職員間の交流を深めることも達成できました。今年度は初めて地方フォーラムベースで開催しました。来年度は他の地方フォーラムでも開催できることを目指していきます。



ワークショップの様子①



ワークショップの様子②



ワークショップの様子③

日時 令和4年12月2日(金) 15:00~17:00

場所 国土交通省 関東地方整備局内会議室

参加者 32名(自治体職員23名、国民会議担当委員9名)

プログラム 「どうしたら、もっと楽により良いメンテナンスができるか」

①望ましい組織体制とは？

②望ましい実務の在り方とは？

02 社会インフラテック展における、新技術導入に向けた自治体職員との意見交換会の実施

社会インフラテック2022において、自治体職員を対象とした、新技術導入に向けた意見交換会を開催しました。

国交省職員からの取組紹介の後、国交省職員と自治体職員の意見交換及び自治体間の意見交換が活発に行われ、今後の新技術導入検討に向けて参考となる時間を設けることができました。



意見交換の様子

日時 令和4年12月8日(木) 13:00~14:30

場所 東京ビックサイト 東4ホール2階東4商談室(3)

参加者 自治体職員 計9名、他インフラメンテナンス国民会議 実行委員等

プログラム 意見交換会内容

各自治体の取組状況や検討状況等について、それぞれの課題や疑問点について話し合いを実施し、主に挙げた質問等は以下の通り。

- ・庁舎内での合意を得るために新技術導入効果をどう示したか。
- ・新技術を導入した効果はどうだったか。
- ・現場状況に合う新技術をどのように見つければよいか。
- ・新技術導入に向け、大学の先生等有識者との繋がりが必要と感じる反面、自治体として有識者とのように繋がりを持つことができるか。
- ・現状の課題の整理や、課題解決に向けた取組について(本当に困っていることは何か、新技術導入が解決策なのか)

技術者育成フォーラム

包括民間委託、技術者派遣等の新たな民間ノウハウを活用する手法において、担い手側に求められる企業連携やマネジメント体制の確立に向け、地域の担い手側に求められる役割や技術の方向性を模索するシンポジウムを地方フォーラムと連携して開催し、またインフラメンテナンスの課題解決の具体方策として、求められる技術者の役割や資格・制度の枠組み等について検討を進め、試行・実装を目指して活動しています。さらに地方フォーラムでのインフラメンテナンス時代のリーダーの育成を目指す先進的な取り組みをスパイラル支援していきます。

01 次世代の技術者が率先して取り組む 市民協働メンテナンス活動事例の横展開

新技術交流イベントin Shizuoka 2022の主催者ブースに出展させて頂き、各地で行われている次世代の技術者が率先して取り組んでいる市民協働インフラメンテナンス活動を、特に来場した学生、若手の自治体職員に対面でPRしました。このような地域発信のモデルケースを新たな地域で紹介し、これからの時代の技術者として、地域の維持・発展を牽引するインフラメンテナンスのリーダーとしての役割と知ってもらう機会としました。



PR交流の様子①



PR交流の様子②



PR交流の様子③

日時 令和4年11月8日(火)

場所 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

参加者 来場者の内、約60名の方々に対面にて事例紹介(学生、大学、自治体、企業)

プログラム 出展内容

インフラメンテナンス国民会議の紹介

「みんなで一緒にメンテナンス」4つの取り組み紹介

- 1.インフラテクノロジーコンテスト～高専の生徒がメンテナンスを変える～
- 2.クリーンプロジェクトin広島～家族、友人そして同僚と、地域みんなでインフラ点検～
- 3.橋のセルフメンテナンスふくしまモデル～地元の橋は地元で守る～
- 4.岡山道路パトロール隊～岡山市内の高校生が中心となり行政&企業とインフラパトロール隊～

02 国民会議のプラットフォームで期待される 双方コミュニケーションを探る(その2)

地域のインフラメンテナンスの課題解決の具体方策として求められる技術者の役割や資格・制度の枠組み等について検討を進めるために、今年度は、二つの自治体(群馬県、静岡県)で出前ヒアリングを実施しました。官民の技術者の交流の場を国民会議のプラットフォームでどのような形が期待され望ましいか意見交換し、内容を整理し、各公認フォーラム及び地方フォーラムに反映することで、継続的に全体最適な活動に繋げることを目指します。



意見交換の様子①



意見交換の様子②

日時 令和4年6月～7月(2回)

場所 各自治体会議室

参加者 自治体職員、国民会議技術者育成フォーラム企画委員

プログラム 意見交換

- ・インフラメンテナンス国民会議の主旨説明
- ・自治体の事業紹介
- ・維持管理の現状と課題(包括的民間委託、インフラDXの活用等)
- ・国民会議のプラットフォームで出来る事(ワークショップ等)

市民参画フォーラム

インフラとは?小学校出前授業の始まりでは常にこのフレーズを使います。すでに当たり前のように使用しているインフラについて考えることは重要なことです。さらにこの重要なインフラを長持ちさせるにはどうすればいいのでしょうか?これらのテーマをイベントを通して、さまざまな意見と共に共感を広げていきます。市民参画フォーラムでは、皆と一緒に考え行動するための場をつくっています。

01 花畑運河開削90周年記念イベント 「将来の街をつくらう!~花畑運河編~」

花畑運河開削90周年を記念して、花畑川の歴史を知り、これからの川づくり、川の価値についてイベントを通して理解促進を行います。



展示の様子①



展示の様子②



将来のまちの絵を描いている様子



ペーパークラフトで橋をつくっている様子

日時 令和4年5月15日(日) 10:00~16:00

場所 足立区六木第4公園

参加者 小学生、中学生、地域住民

プログラム 将来のまちをつくらう!

☆のぼり人形で競い合うゲーム

☆花畑運河の将来のまちを描いてもらう

☆ペーパークラフトで橋をつくる

02 サイエンスアゴラ2022

今年のサイエンスアゴラは、あなたの考えを聞くところから始めたい。集まった人々の知恵をまぜて、今ある枠組みや思い込みをこえて、よりよい未来をつくることに挑戦します。



カードゲームをしている様子



住み続けられるまちづくりのシートの様子



橋梁恐竜カードを配布する様子



ブース全体の様子

日時 令和4年11月5日(土)~6日(日) 10:00~18:00

場所 テレコムセンタービル(東京・台場 青梅地区)

参加者 小学生~大学生、保護者等(ゲーム参加人数127名/2日間)

プログラム 橋梁維持管理カードゲーム

橋梁の寿命年数を延ばすゲーム

住み続けられるまちづくり

大きなまちの絵に書いてある住民の困りごとを解決する、絵や文章を書いてもらう

橋梁恐竜カードの配布

千本引きで最後にプレゼントをする

動画の放映

周にゃん橋守隊、インフラメンテナンス国民会議、アイセイのヒーロー動画

写真スポット

スマブラ風スポット、カイジ風スポット

市民参画フォーラム

03 小学6年生を対象としたキャリア教育 「自分の夢とSDGs」

「働くこと」の楽しさ、大変さ、充実感、SDGsに対しての取組を、話し伝えることで、どんな仕事があるのか、どうしたらその仕事につけるかといった手がかりに繋げ、子供たちが働くことへの興味の一助となることを目的としています。



授業の様子①



授業の様子②



板書の様子

日時 令和5年2月7日(火) 9:30~10:15

場所 千葉県流山市内小学校

参加者 小学6年生(47名)、校長先生他教師(6名)

プログラム

1. インフラとは何かを知る
2. インフラを大切に使わないとどうなるのかを知る
3. インフラがなくなったらどうなるかを話し合う
4. インフラの維持管理の仕事について(壊れる前にメンテナンスをすることでインフラを長持ちさせる)
5. インフラを長持ちさせるために、みんなでできることを話し合う

04 インフラマネジメントテクノロジー コンテスト2022

高専生を対象としたインフラ版コンテスト、インフラのさまざまな課題を学生が調査し、その課題を解決するための手段を技術やサービスでまとめました。最終審査は動画により競技を行いました。

- ・学校だけでは身につけにくい「課題発見力」を養う
- ・学校だけでは学びにくい「地域・まち」と「インフラ」の関係性を知る



グランプリを受賞した
チーム砂防with折紙



プレゼンの部の様子



企業と学生の交流の様子



交流会集合写真

日時 令和4年5月~令和5年3月

場所 コンテスト:オンライン、交流会:アーツ千代田3331

参加者 参加チーム:1次 19チーム(13校)【全国57校中(国公立)】 最終 11チーム(8校)、自由参加 2チーム

協賛:プラチナパートナー23団体、ゴールドパートナー25団体 わくわく応援隊130名

共催:3団体、後援13団体、協力3団体

プログラム

意見交換会

- ①1次作品募集期間:令和4年5月23日~7月22日
- ②最終作品募集期間:令和4年8月23日~10月31日
- ③インフラテックコン入賞者発表:令和4年12月21日

その他イベント

- ①日経産業新聞『高専に任せろ2022』高専制度創立60周年記念版:令和4年11月16日
- ②社会インフラテック2022:令和4年12月7日~9日
- ③インフラテックコン交流会:令和5年2月24日

・わくわく賞、プラチナ賞の発表

海外市場展開フォーラム

メンテナンス分野の海外プロジェクトに関連する官民連携の促進や、国内外のメンテナンスに関する製品・技術・知見を有する産官学の関係者による「プラットフォーム」の構築により、メンテナンス分野における我が国企業の海外展開を図る取組を行っています。

01 インフラメンテナンス 海外市場展開セミナー

インフラメンテナンス分野における海外プロジェクトに関する官民連携の強化と我が国企業の海外展開の促進を目的として、過年度の調査内容（インフラメンテナンスの現状及び課題）を報告するとともに、在外公館に赴任中のアタッシェやJICA専門家から、東南アジア諸国のインフラメンテナンスに関する現地のリアルな課題や技術ニーズ等の情報提供およびJICA・本邦企業の海外展開事業の紹介を行うセミナーを開催しました。

日時	令和4年11月18日(金) 15:00~17:00
場所	オンライン(Zoom)
参加者	約240名
プログラム	過年度調査概要の報告 東南アジア諸国のインフラメンテナンス分野に関する情報提供 中小企業・SDGsビジネス支援事業の紹介 本邦企業の海外展開事例の紹介 今年度の取組方針



インフラメンテナンス海外市場展開セミナーの様子

02 日インドネシア・インフラメンテナンスセミナー 2023

インドネシアでは道路・橋梁などのインフラの老朽化が進んでおり、メンテナンスに課題を抱えています。インフラメンテナンスの課題解決に資する観点から、両国のインフラメンテナンスに係る政府の取り組み、日本企業のメンテナンス技術をインドネシア側関係者に紹介し、インフラメンテナンス事業への参画・協働に向けて、インドネシア政府・現地企業と日本企業とのネットワーク構築をサポートする目的でセミナーを開催しました。



セミナー会場(プレゼンテーション)の様子



技術展示会場の様子

日時	令和5年2月7日(火) 11:00~14:00(日本時間)
場所	ホテル・ムリア・セナヤン(ジャカルタ)及びオンライン(Zoom)
参加者	約300名
プログラム	日本のインフラ維持管理の現状 インドネシアのインフラ維持管理の現状 日本の橋梁維持管理の取組 インドネシアの橋梁インフラの課題 日本のインフラ維持管理技術の紹介 技術展示会

北海道フォーラム

平成30年3月23日に設立し、北海道内の地方公共団体が管理する土木施設・公共施設の適切なメンテナンスを継続していくため、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして、活動しています。

リーダー 高野 伸栄
北海道大学大学院工学研究院 教授



01 北海道フォーラム シンポジウム 「地方でのインフラメンテナンスを考える」

公共インフラの適切なメンテナンスを継続するため、インフラの現状を再確認し、メンテナンスのノウハウや好事例などを紹介するとともに、北海道フォーラムの取組みを周知するなどして、課題解決に向けた機運を高めました。

北海道フォーラムとしては、昨年度に引き続きオンラインによるイベントの開催となりましたが、北海道内各地や道外から多くの方にご参加頂きました。



高野フォーラムリーダーによる講演の様子



第1部シンポジウムにおける各講演者の様子

日時 令和5年2月2日(木) 13:30~16:30

場所 オンライン配信

参加者 約300名(46自治体 61名)

プログラム 開会挨拶

栗田 悟(一般社団法人 北海道建設業協会副会長/
北海道フォーラム企画委員長)

第1部

講演①インフラメンテナンスの現状と課題

高野 伸栄(北海道大学大学院工学研究院 教授
北海道フォーラムリーダー)

講演②自治体を対象とした橋梁補修工事の積算

永井 俊介(一般財団法人 北海道建設技術センター
市町村支援部 市町村支援課)

講演③上下水道に関するインフラメンテナンス大賞受賞技術の紹介

鈴木 久永(北海道フォーラム水インフラ他施設グループ)

講演④ 公共建築物メンテナンスの課題と解決のヒント

西川 忠(北海道フォーラム公共施設・住宅グループ)

講演⑤公共インフラの老朽化に取組む地方自治体の現状と展望

高宮 則夫(北海道フォーラム自治体支援グループ)

第2部

自治体アンケート報告会(フォーラム内を5つの分野に分けたグループより)

道路構造物G:植村 豊樹(株式会社構研エンジニアリング)

水インフラ他施設G:竹内 正志(株式会社西原環境)

舗装G:内海 正徳(ニチレキ株式会社)

公共施設・住宅G:横山 隆(株式会社開発公営社)

自治体支援G:高宮 則夫(NPO法人公共環境研究機構)

インフラメンテナンスに関する情報提供について

萩野 皓介(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 係長)



第2部アンケート報告会及び情報提供の様子



シンポジウム配信の様子

02 下水道管路の点検・調査 ドローンデモンストレーション

インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム水インフラ他施設グループ(主に上下水道等を対象)では、道内自治体が抱える共通課題である「技術者不足」の解決に寄与する技術紹介として、長万部町の協力の下、実際の下水管路を用いた点検・調査ドローンのデモンストレーションを開催しました。

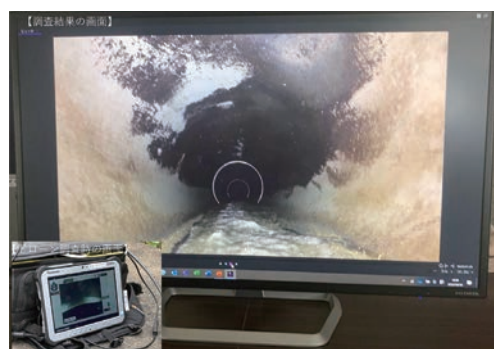
今回、デモンストレーションで紹介した技術は、株式会社NJS開発の閉鎖性空間点検調査ドローン「AirSlider® Fi4」で、第2回「インフラメンテナンス大賞」国土交通省特別賞を受賞した技術です。



開会挨拶の様子



下水道調査ドローンの操作の様子



ドローン調査画面の様子

日時 令和4年8月30日(火) 13:15~15:00

場所 長万部町終末処理場

参加者 9自治体 25名

プログラム **開会**

古橋 浩太

(北海道フォーラム水インフラ他施設グループ/日鉄物産株式会社)

概要説明

「管路・閉塞性空間の点検・調査ドローンAirSliderについて」

稲垣 裕亮(株式会社NJS 開発本部 ドローン開発部)

デモンストレーション(点検調査見学)

佐藤 朝夫(株式会社北王インフラサイエンス)

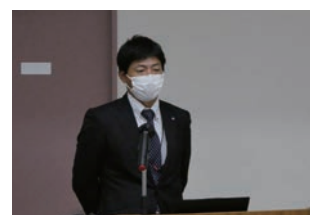
03 日常業務の生産性向上 ～ICTの活用とDXへの取り組み～

札幌市設計同友会並びにインフラメンテナンス国民会議北海道フォーラムでは、地方自治体への支援活動の一環として、インフラ点検におけるICTの活用事例やDXの実践に向けた取組を題材とした生産性向上のための知見を学ぶ「講演会」を開催しました。

日時 令和4年10月21日(金) 13:30～15:30
場所 オンライン配信
参加者 約120名(10自治体 13名)
プログラム 開会挨拶
 池田 憲二(札幌市設計同友会 会長理事)
講演(1)
 「インフラ点検におけるICTの活用」
 伊藤 公彦(株式会社シビテック/
 北海道フォーラム道路構造物グループ)
 久保 元樹(日東建設株式会社)
講演(2)
 「インフラDX実践に向けた取り組み」
 高橋 浩司(株式会社構研エンジニアリング)



株式会社シビテック
伊藤公彦氏の講演の様子



日東建設株式会社
久保元樹氏の講演の様子



第5回インフラメンテナンス大賞優秀賞を受賞した「ボルトテスター」の実践の様子

04 建物診断セミナー

インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム公共施設住宅グループでは、小規模自治体において、公共建築物を事務職員など専門外の職員が管理せざるを得ない状況を少しでも改善すべく、公共施設の管理に従事する町村職員のための建物診断セミナーを浦臼町協力のもと開催しました。

日時 令和4年10月24日(月) 13:30～16:30
場所 浦臼町
参加者 9自治体 14名
プログラム 開会
老朽化診断のポイント
 西川 忠
 (北海道フォーラム公共施設・住宅施設グループ/
 札幌市立大学 デザイン学部大学院 デザイン研究科 教授)
 横山 隆(株式会社開発公営社総合技術本部)
実際の構造物を用いたレクチャー
 浦臼町保健センター(鉄筋コンクリート造)
 浦臼町ふるさと活性化センター(鉄骨造+ALC)
質疑応答・総評



老朽化診断ポイントの講演の様子



屋上排水のチェックの様子



コンクリートのひび割れ確認の様子

東北フォーラム

東北フォーラムは、インフラを良好な状態で持続的に活用することを目指し、平成30年4月27日に設立されました。産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、活動しております。

リーダー 石川 雅美
東北学院大学工学部 教授



01 令和4年度マッチングイベント in宮古

東北の各自治体が抱えるインフラの維持管理に関する課題・悩みなどの解決の糸口とすべく、企業が所有する技術などを紹介するマッチングイベントを対面オンライン併催方式で開催しました。岩手大学小山田准教授による、復興道路・復興支援道路のコンクリート構造物についての講演、行政会員から寄せられたニーズに応える形で、企業会員からの7件のシーズ紹介が行われました。今後は、このイベントを機に、提案技術の実装やマッチング方策について検討を図ります。



フォーラムリーダーの挨拶



イベント会場の様子(シーズの説明)

- 日時** 令和4年12月20日(火) 10:00~12:30
- 場所** 岩手県宮古市 市民交流センター
- 参加者** 約110名(行政会員、団体会員、企業会員等)
- プログラム**
- 挨拶**
石川 雅美(東北学院大学 教授/東北フォーラムリーダー)
- 講演**
『復興道路・復興支援道路のコンクリート構造物の長寿命化に向けた実践的取組み』
小山田 哲也(岩手大学理工部 准教授)
- ニーズ紹介**
- シーズ紹介**
- 【建築分野】**
- ・建物の長寿命化計画策定に役立つ防水について
- 【土木分野】**
- ・港湾構造物等の水中部・気中部の点検を効率的に行う技術
 - ・中小河川の維持管理を高度化・効率化する技術
 - ・港湾構造物(海中部)リアルタイム水中モニタリングシステム
 - ・濁水において水中構造物の点検技術
 - ・港湾構造物の維持更新トータル技術
 - ・橋梁の鋼材・鉄筋の破断を非破壊検査技術



小山田准教授による講演

02 宮城県白石市での実証実験

これまで東北フォーラムに寄せられた自治体からのニーズの内、特に多くの自治体が苦慮している【碎石道路の流出対策・維持管理】について、【碎石流出を防止するための安価で管理が容易な技術】のシーズがマッチングし、白石市のご協力のもと実際に碎石流出が問題となっている現場をご提供いただき実証実験を実施しました。

日時 令和4年11月14日(月) 13:00~16:00
場所 宮城県白石市小原地内(林道)
参加者 約50名(行政会員 岩手県奥州市、宮城県白石市・川崎町、山形県南陽市等)

プログラム

挨拶

石川 雅美(東北学院大学 教授/東北フォーラムリーダー)
 菊地 正昭(白石市副市長)

シーズ技術の概要説明・施工

- ① 碎石流出対策について
 - ・高性能プライムコート他
(東亜道路工業株式会社)
 - ・カタマSP(日鉄スラグ製品株式会社)
- ② 碎石流出の補助工法
 - ・TU水路(東亜道路工業株式会社)
 - ・シスイエース
(一般財団法人 日本森林林業振興会)



白石市 菊地副市長の挨拶



施工中の現場状況



高性能プライムコートによる
碎石の定着を確認

03 建設技術公開【EE東北'22】出展

東北フォーラムとしてEE東北'22に初出展し、東北フォーラムの活動内容や、国民会議の会員となるメリット等について、自治体や企業に向けて情報発信を行いました。過去にマッチングイベントで実際に取りあげたシーズについての紹介や出展ブースへ来場された皆様からインフラメンテナンスに関するアンケート調査を実施しました。

日時 令和4年6月1日(水)~2日(木)
場所 みやぎ産業交流センター
参加者 150名(行政、企業関係者、ブース来場及びアンケート回答者)

プログラム

展示内容

- ・インフラメンテナンス国民会議の概要
- ・市区町村長会議の概要
- ・行政会員の入会状況マップ
- ・東北フォーラムの概要・活動報告
- ・企業から寄せられたシーズの紹介



展示内容



出展ブースの様子

関東地方フォーラム

インフラメンテナンスに関する地方公共団体及び産業等の育成・活性化を支援し、インフラメンテナンス国民会議の取り組みを地方レベルで推進させることを目的とし、関東地方フォーラムを平成30年3月29日に設立しました。

リーダー 村越 潤
東京都立大学 教授



01 令和4年度 関東地方フォーラムイベント意見交換会 【共催】自治体支援フォーラム

「産官学民がインフラ施設を『自律的・継続的』に維持管理することが可能な仕組みの構築に向けて支援する」の理念に基づき、施設管理者である自治体の維持管理における課題解決を促進させるために、自治体職員間の意思疎通を図ることを目的として企画しました。自治体職員の意見交換会では調達方法、費用、技術力、技術者等に関して、現状の取組状況の把握と、今後の対応や対策について、ワークショップ形式で意見交換を行い、自治体間で「知識・技術・思い」といった情報を交換し、職員間の交流を深めることを目的としました。



取組事例紹介の様子



意見交換会の様子

日時 令和4年12月2日(金)

13:30~17:00

場所 国土交通省関東地方整備局

さいたま新都心合同庁舎

検査棟 7階 共用会議室2

参加者 自治体参加者24名(自治体数14)

プログラム 自治体の取組事例

①橋梁点検における新技術の活用について(群馬県)

②道路、橋梁の直営点検における桜川市の取組(桜川市)

自治体職員の意見交換会

メインテーマ:「どうしたら、もっと楽により良いメンテナンスができるか」

テーマ①望ましい組織体制とは?

テーマ②望ましい実務のあり方とは?



会場の様子

02 インフラメンテナンス国民会議 関東地方フォーラム

地方自治体のインフラメンテナンスに関する現状の取組みと課題、先進事例を、また、民間企業から課題解決に向けた最新技術の紹介を行い、情報共有、意見交換することで、産官学民におけるインフラメンテナンスの課題解決の取組みを促進することを目的として開催しました。

持続可能なインフラメンテナンスの実現がトップダウンにより更なる推進が図られることを期待し、「インフラメンテナンス市区町村長会議関東ブロック」の第1回会議のタイアップイベントとして企画しました。



自治体取組み、先進事例の紹介の様子



企業からの技術紹介の様子



会場の様子

- 日時** 令和5年1月30日(月) 13:00~15:40
- 場所** ホテルプリランテ武蔵野 ※WEB併用
- 参加者** 会場47名(自治体等34名、事業者等13名)
WEB参加73名(自治体等40名、事業者等33名)
- プログラム**
- 自治体におけるインフラメンテナンスの取組み課題**
 - ・小規模橋梁の維持管理の取組と課題(茨城町)
 - ・公園の維持管理の取組と課題(厚木市)
 - 自治体の先進事例の紹介**
 - ・マイシティレポートの取組 (稲城市)
 - 関東地方整備局からの情報提供**
 - ・関東道路メンテナンスセンターの取組みと地方支援
 - 企業からの技術紹介**
 - ・インフラの日常管理、点検を支援するi-MASTER
 - ・スマートフォンによる道路点検DXシステム「GLOCAL-EYEZ」
 - ・橋梁長寿化時代に向けた 樹脂防水一体化アスファルト舗装技術「タフシャットRA」

北陸インフラメンテナンスフォーラム

主に自治体が抱える課題に関する知識を深めるとともに人材交流により課題解決を見出すことを目的とし、北陸インフラメンテナンスフォーラムを平成30年3月26日に設立しました。

活動にあたっては、産学官民協力して取り組む他、メンテナンス会議など既存組織で取り組んでいる活動と連携し、取り組むものとしております。

リーダー 丸山 久一
長岡技術科学大学 名誉教授



01 第4回北陸インフラメンテナンスフォーラム

産官学民が協力してインフラメンテナンスの課題解決を目指す「北陸インフラメンテナンスフォーラム」が8月9日に開催されました。

平成30年3月に設立し、4回目となる今回は、自治体のメンテナンス課題を事前に確認し、その解決に向けて提案があった6技術について、各企業より紹介いたしました。



開会挨拶の様子



講演の様子

日時 令和4年8月9日(火) 14:45~17:00

場所 新潟県民会館 小ホール ※WEB併用

参加者 約150名(うち、WEB参加120名)

プログラム 開催挨拶

佐伯 竜彦(新潟ブロックリーダー/新潟大学 教授)

講演

マルチモーダルAIを活用した産学官連携
～インフラメンテナンス分野における社会実装の事例～
岩橋 政宏(長岡技術科学大学 教授)

自治体の課題(ニーズ)紹介

課題解決のための技術(シーズ)紹介

- ・橋梁の老朽箇所の簡易補修を支援する技術
ニンジヤシール橋梁伸縮装置補修工法【株式会社ガイアート】
- ・下水道管渠及びマンホールの点検・調査を支援する技術
AIを用いた下水道管路の損傷検出システム【株式会社 奥村組】
- ・護岸や根固工等の腐食・破損箇所の簡易補修を支援する技術
洗い掘り対策用の繊維強化コンクリート「FRC」補修材シーバグA【柏崎ユーステック株式会社】
- ・橋梁の健全度および劣化要因の診断を支援する技術
Dr.Bridge (AIを活用した橋梁劣化・健全度判定支援システム)【株式会社 日本海コンサルタント】
- ・橋梁の老朽化、損傷具合を正確に診断できる技術
衝撃荷重載荷試験機「SIVE(エス・アイ・ブイ・イー)」による床版たわみ計測【大日本コンサルタント株式会社】
- ・橋梁の老朽化、損傷具合を正確に診断できる技術
RC床版の抜け落ちモニタリング【鹿島建設株式会社】

閉会挨拶

宮里 心一(富山・石川ブロックリーダー/金沢工業大学 教授)



技術紹介の様子

中部フォーラム

中部フォーラムは、民間主体の事務局として2018年1月26日に設立し、中部地方の自治体が管理する主として土木インフラについて、メンテナンスサイクルの確実な実施に向けて支援いたします。

リーダー 原田 和樹
日本工営都市空間株式会社



01 名城大学出前講座 「令和4年度 施設維持管理理論 橋梁の維持管理と実務」

コンクリートの維持管理に関する授業「施設維持管理論」の1コマとして、実務的な観点から「橋梁維持管理の実例」について、理工学部社会基盤デザイン工学科の4年生を対象に出前講座を行いました。本講義では、学生にインフラメンテナンスの実態を理解頂き、今後の自身の研究活動の気づき・動機付けの一助となり、その結果がインフラメンテナンスの社会的知名度向上に繋がることを目指しました。

- 日時** 令和4年6月7日(火)
場所 名城大学 H-204講義室
参加者 大学生(4年生)23名
プログラム インフラメンテナンス国民会議 中部フォーラムについて
原田 和樹(玉野総合コンサルタント株式会社)
橋梁維持管理概論
伊藤 均(八千代エンジニアリング株式会社)
橋梁維持管理の動向
古澤 栄二(株式会社ティコク)
橋梁維持管理 実務の事例紹介
①床版取替え設計:ASRと凍害の複合劣化で傷んだ床版の取換え
②NEXCO高速道路の橋梁維持管理
細江 育男(大日コンサルタント株式会社)



講義風景①



講義風景②

02 インフラ補修DIY ～小規模橋梁の維持管理を自分たちの手で～

令和3年度に開催した意見交換会に参加した自治体に対し個別ヒアリングを実施。維持管理における真の困り事の解決を目的として、岐阜県加茂郡内の4町村(七宗町、東白川村、白川町、八百津町)を対象に、小規模コンクリート橋の劣化・損傷ポイントや構造的な考え方、劣化・損傷に対する危険度の判定方法を学びました。また、実橋梁を用いて、鉄筋防錆や水切り材設置、桁端部の止水処理といった簡易補修や、簡易補修のための事前清掃を道路管理者が自ら体験し、直営で実施可能か否かの検証を行いました。

- 日時** 令和4年11月16日(水) 10:30~16:00
場所 岐阜県加茂郡七宗町
参加者 七宗町、東白川村、白川町、八百津町の道路管理者8名
プログラム 座学
①本イベントが目指すところ
②対象とする小規模橋梁と構造概要
③小規模橋梁の変状(劣化・損傷)あるある
④なぜその変状(劣化・損傷)が発生する?
⑤一般的な補修方法
⑥DIY補修の提案
フィールド実習
①鉄筋露出箇所の簡易防錆
②床版水切り材の設置
③伸縮目地、地覆目地の止水



座学の様子



水切り材設置の様子



伸縮目地止水材充填の様子

03 愛知工業大学出前講座 「施設維持管理論 橋梁の維持管理と実務」

愛知工業大学・土木工学科の3年生を対象に、セミナー授業の1コマを利用し「橋梁維持管理」に関する出前講座を行いました。講義では、橋梁維持管理の現状を説明し、実例を基に点検、補修設計等の実際の業務について説明を行いました。

本講義を通じて、維持管理の現状、重要性を知って頂き、インフラメンテナンスの社会的知名度向上を目指しました。(受講後のアンケートでは、多くの学生から本取り組みに対する興味を頂き、今回の出張講座が有意義であったことが確認出来ました。)



講義風景①



講義風景②



講義風景③

- 日時** 令和4年10月18日(火) 13:00~14:30
場所 愛知工業大学 1号館501号室
参加者 大学生(3年生) 111名
プログラム **インフラメンテナンス国民会議 中部フォーラムについて**
 原田 和樹(日本工営都市空間株式会社)
橋梁維持管理概論
 伊藤 均(八千代エンジニアリング株式会社)
橋梁維持管理の動向
 古澤 栄二(株式会社テイコク)
橋梁維持管理 実務の事例紹介
 ①床版取替え設計:ASRと凍害の複合劣化で傷んだ床版の取換え
 ②NEXCO高速道路の橋梁維持管理
 細江 育男(大日コンサルタント株式会社)
土木業界説明
 ①建設コンサルタントについて
 水津 紀陽(八千代エンジニアリング株式会社)
 ②総合建設業について
 伊藤 貴裕(戸田建設株式会社)
 ③道路舗装業界について
 田中 実(東亜道路工業株式会社)

近畿本部フォーラム

平成28年12月15日に設立し、平成30年1月の第1回フォーラムの開催を皮切りに、令和5年3月末までにフォーラムを10回、ピッチイベントを8回、実証実験を18回開催しました。また、今年度は包括的民間委託等の導入推進ワーキンググループの活動を本格的に実施するなど、昨年度に引き続き、多くの施設管理者、民間企業の皆さまにご参加いただき、実りある活動を展開することができました。

リーダー 片岡 信之
一般社団法人国土政策研究会 理事
関西支部事務局長



01 近畿本部フォーラム2022

「インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム2022」は、多くの方にインフラメンテナンスについて考えていただくきっかけを作り、産学官民が一丸となってインフラメンテナンスに取り組む社会の実現を目指し、民間企業・団体によるインフラメンテナンスに関する技術の紹介や建機・先進技術のデモンストレーションなどを行う展示会です。あわせて、専門家による講演やシンポジウムなども開催しました。

日時 令和4年5月19日(木) 10:00~17:00
令和4年5月20日(金) 10:00~17:00

場所 【屋内】大阪市中央公会堂 【屋外】中之島公園

参加者 10,570名(1日目 5,016名、2日目 5,554名)

参加団体 【屋内】65ブース(76社 ※共同出展社含む)による展示・PR
【屋外】14ブース(18社 ※共同出展社含む)による重機の展示及びそれを用いたコンテンツ

プログラム 5月19日

開催宣言 10:00~

霜上 民生

(インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム2022 実行委員長/
一般社団法人国土政策研究会 理事 兼 関西支部長)

来賓挨拶 10:10~

廣瀬 昌由(国土交通省 大臣官房技術審議官)
東川 直正(国土交通省 近畿地方整備局 局長)

取組発表 10:20~

「近畿地方整備局のインフラメンテナンスの取組発表」
豊口 佳之(国土交通省 近畿地方整備局 企画部長)

特別講演 10:35~

「最近の話題について」
脇 雅史(一般社団法人国土政策研究会 会長)

基調講演 13:00~

「国土交通省のインフラメンテナンスの取組と今後について」
廣瀬 昌由(国土交通省 大臣官房技術審議官)

基調講演 13:30~

「近畿本部フォーラム 取組報告及び実証実験報告」
坂野 昌弘(インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 情報ワーキング長)

基調講演 14:00~

「これからのインフラ ~メンテナンスとビッグピクチャー~」
谷口 博昭(公益社団法人土木学会 会長/一般社団法人国土政策研究会 理事)



霜上 民生氏



廣瀬 昌由氏



東川 直正氏



豊口 佳之氏



脇 雅史氏



坂野 昌弘氏



谷口 博昭氏

5月20日(同時開催)

・インフラメンテナンス国民会議市区町村長会議 近畿ブロック 第1回総会 10:30~

地方自治体において、予防保全への本格転換や新技術の活用など、効率的・効果的なインフラメンテナンスの実現を目的とし、メンテナンスに高い関心を持つ市区町村長で「インフラメンテナンス国民会議市区町村長会議近畿ブロック」を立ち上げ、初回の会議を行いました。

・近畿管内道路メンテナンス会議・実証実験報告会 13:00~

道路管理者が相互に技術的課題などを情報共有し、円滑な道路の維持管理を進めるため、国と自治体等が連携して、道路管理者で構成する近畿管内の会議です。

02 第10回フォーラム

第10回フォーラムでは6つのテーマ(①空洞調査に係る技術、②街路樹の点検に係る技術、③トンネル点検に係る技術、④近接困難な構造物の点検に係る技術、⑤路面性状調査の画像解析に係る技術、⑥橋梁点検に係る技術)についてそれぞれ討論を行いました。各ニーズに対し、民間企業や自治体、ファシリテーターがディスカッションを行い、各自治体が抱える課題に対する解決策の方向性を模索しました。



班別討議の様子



まとめの様子

日時 令和4年10月13日(木) 13:30~17:00

場所 近畿地方整備局 第一別館 大会議室

参加者 63名(地方自治体14名、民間企業等27名、国土交通省5名、
メンター1名、事務局16名)

プログラム 各テーマごとに分かれてディスカッション
インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムのこれまでの活動
統括



会議の様子

03 第8回ピッチイベント

第8回ピッチイベントでは令和4年10月13日に開催した第10回フォーラムで討議したテーマに対し、民間企業が保有するシーズ技術のプレゼンテーションを行いました。テーマは①空洞調査に係る技術、②街路樹の点検に係る技術、③近接困難な構造物の点検に係る技術、④路面性状調査の画像解析に係る技術、⑤橋梁点検に係る技術。これらの技術の提案を受けて、今後実証実験に繋げていきたいと考えています。



会議風景



会議風景

日時 令和4年12月16日(金) 13:00~17:00

場所 大阪合同庁舎第一号館 会議室

参加者 63名(地方自治体10名、民間企業等38名、国土交通省6名、メンター1名、事務局8名)

プログラム 来賓挨拶
奥田 晃久(国土交通省 近畿地方整備局 企画部長)
民間企業によるプレゼンテーション
総評

04 第14回実証実験

ピッチイベントの結果、施設管理者が抱える課題解決の可能性が高いシーズについて、現地において実験を行い、技術の検証を行いました。

日時 令和4年6月8日(水) 13:00~16:00
プログラム 求める技術
 歩道の路面性状調査技術
施設管理者
 明石市
実証実験実施者
 大林道路株式会社
 「地上型レーザーキャナー搭載電動車いすによる歩道の路面調査技術」
 倉敷紡績株式会社
 「路面検査システムの歩道計測活用」



第14回実証実験の様子



第14回実証実験の様子

05 第15回実証実験

ピッチイベントの結果、施設管理者が抱える課題解決の可能性が高いシーズについて、現地において実験を行い、技術の検証を行いました。



第15回実証実験の様子



第15回実証実験の様子

日時 令和4年8月8日(水) 13:00~15:00
プログラム 求める技術
 水路の水を止めずに、地元業者や職員でも簡単に施工できる技術
施設管理者
 和歌山市
実証実験実施者
 サンユレック株式会社
 「エポキシ樹脂を使用した水路クラックの簡易補修技術」

06 包括的民間委託等の導入推進に向けて

近畿本部フォーラムでは、「包括的民間委託等の導入を促進するため、導入検討を行う地方公共団体を支援する施策」を進める国土交通省の動向を契機と捉え、地域の活動として企画に賛同する3団体と連携し、自治体支援等を目的にインフラメンテナスを持続的・実効的に効率化するような契約手法・制度的テーマ等に取り組む「包括的民間委託等の導入推進ワーキンググループ」を設置しました。「包括的民間委託等の導入推進に向けて」は本ワーキンググループの活動の一環として開催し、有識者によるパネルディスカッションを実施しました。



パネルディスカッションの様子



パネルディスカッションの様子

日時 令和4年11月10日(木) 14:45~17:00
場所 インテックス大阪 6号館5階 ホールH
参加者 131名(地方自治体27名、民間企業等85名、国土交通省7名、事務局12名)
プログラム 話題提供

原田 駿平(国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 調整官)

パネルディスカッション

● テーマ

「市町村のインフラ維持管理体制のサステナビリティ」 ~末永く安心できるインフラ維持管理のために~

● コーディネーター

板倉 信一郎(近畿本部フォーラム 包括的民間委託等の導入推進ワーキンググループ長)

● パネリスト

原田 駿平(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 調整官)

佐藤 道彦(大阪公立大学 大学院都市経営研究学科 教授)

下村 良希(公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 理事長)

郭 慶煥(前田道路株式会社 営業本部PPP-PFI事業部 課長)※国土交通省PPP協定パートナー

07 第16回実証実験

ピッチイベントの結果、施設管理者が抱える課題解決の可能性が高いシーズについて、現地において実験を行い、技術の検証を行いました。



第16回実証実験の様子



第16回実証実験の様子



第16回実証実験の様子

日時 令和5年3月8日(水) 13:00~16:30

場所 馬場橋(兵庫県淡路市浦)

参加者 施設管理者:5名(淡路市)
 実験実施者:4名(日本橋梁株式会社)／3名(株式会社オーシャンテック)
 1名(大伸化学株式会社)
 2名(フルサト工業株式会社)／4名(株式会社新免鉄工所)
 事務局:4名(国土政策研究会)
 国土交通省:2名(近畿地方整備局)
 メンター:1名(近畿情報ワーキング長)
 見学者:4名(本州四国連絡高速道路株式会社)
 2名(本州高速道路ブリッジエンジニアリング株式会社)
 1名(ユニテック株式会社)
 4名(兵庫県)

プログラム

求める技術

塗膜剥離の技術

施設管理者

兵庫県淡路市

実証実験実施者

日本橋梁株式会社「IH式塗膜剥離工法」

大伸化学株式会社「従来湿式塗膜剥離工法及び繊維ペースト化塗膜剥離剤押え付け工法」

フルサト工業株式会社「レーザーケレン工法」

08 第17回実証実験

ピッチイベントの結果、施設管理者が抱える課題解決の可能性が高いシーズについて、現地において実験を行い、技術の検証を行いました。

日時	令和5年3月14日(火) 13:00~15:30
場所	大阪南港ATC ITM 棟 ※大阪市内で計測した結果を報告
参加者	施設管理者:3名(大阪府大阪市) 実験実施者:4名(株式会社ウォールナット) 事務局:5名(国土政策研究会) 国土交通省:2名(近畿地方整備局) メンター:1名(近畿情報ワーキング長)
プログラム	求める技術 路面下の空洞の厚みを確認する技術 施設管理者 大阪府大阪市 実証実験実施者 株式会社ウォールナット「交通規制が不要な空洞厚測定技術」



第17回実証実験の様子



第17回実証実験の様子

09 第18回実証実験

ピッチイベントの結果、施設管理者が抱える課題解決の可能性が高いシーズについて、現地において実験を行い、技術の検証を行いました。

日時	令和5年3月22日(水) 14:00~15:30
場所	大阪OMMビル
参加者	施設管理者:4名(大阪府) 実験実施者:3名(古河電気工業株式会社) 事務局:4名(国土政策研究会) 国土交通省:1名(近畿地方整備局) メンター:1名(近畿情報ワーキング長)
プログラム	求める技術 AIを用いた道路附属物の台帳作成 施設管理者 大阪府 実証実験実施者 古河電気工業株式会社 「道路附属物維持管理DXソリューション「みちてん®シリーズ」」



第18回実証実験の様子

「ちゅうごく」(中国フォーラム)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、インフラという地域の資産を維持するために、行政だけではなく産官学民での連携による持続可能な維持管理や予防保全の取組が重要であるとの観点から確実かつ効率的なインフラメンテナンスの実現を図ることを目的とし、平成30年3月27日に設立しました。

リーダー 藤井 堅
広島大学 名誉教授



01 第2回実証試験

自治体(施設管理者)が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する実証試験を実施しました。

第2回実証試験では、第4回ピッチイベントで取り上げたニーズのひとつである東広島市の「道路路肩や法面の防草対策及び効果的な除草の技術」という課題に対し、小泉製麻株式会社が有する「イカ・スミ」という防草・除草技術について、東広島市道の歩道において製品の説明とともに試験施工を行いました。なお、効果の検証は、後日報告会を開催することとしています。



藤井堅フォーラムリーダーによる開会の挨拶の様子



シース技術による施工の様子



高口敏弘広域計画課長による閉会の挨拶の様子

- 日時** 令和4年3月29日(水) 14:00~16:00
場所 東広島市道土与丸榎山線(東広島市西条町吉行)
参加者 15名(東広島市7名、シース提供者2名、企画委員会3名、中国地方整備局3名)
プログラム
- 開会の挨拶
藤井 堅(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)
 - ニーズ提供者の挨拶
水脇 剛司(東広島市 建設部 維持課 係長)
 - シース技術(イカ・スミ)の説明
松下 晶季(小泉製麻株式会社 国土環境事業部 西エリア副リーダー)
 - シース技術の施工
 - ニーズ提供者の感想
水脇 剛司(東広島市 建設部 維持課 係長)
 - 講評
藤井 堅(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)
 - 閉会の挨拶
高口 敏弘(国土交通省 中国地方整備局 企画部 広域計画課長)

02 第3回実証試験

自治体(施設管理者)が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する実証試験を実施しました。

第3回実証試験では、第4回ピッチイベントで取り上げたニーズのひとつである湯梨浜町と呉市の「イノシシ対策技術」という課題に対し、一般社団法人日本イノシシコンサルタント協会が有する「イノシシ被害抑制技術 猪ふまず」、株式会社ダイクレが有する「イノシシによる掘り起し防止パネル イノピー」、ラボテック株式会社が有する「超音波式害獣忌避装置 NIGETEC」という3技術について、湯梨浜町の圃場において製品の説明とともに試験施工を行いました。なお、効果の検証は、後日報告会を開催することとしています。



藤井堅フォーラムリーダーによる開会の挨拶の様子



シーズ技術による施工の様子



メンター宮本文穂による講評の様子

日時 令和4年8月8日(月) 13:30~16:00
場所 湯梨浜町原集会所、湯梨浜町唐川地区の圃場
参加者 23名(湯梨浜町及び地元住民8名、シーズ提供者5名、企画委員会8名、中国地方整備局2名)

プログラム

開会の挨拶

藤井 堅(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)

ニーズ提供者の挨拶

遠藤 秀光(湯梨浜町 産業振興課 課長)

シーズ技術の説明

一瀬 泰啓(一般社団法人日本イノシシコンサルタント協会 代表)

濱崎 信幸(株式会社ダイクレ 中国支店 営業課 課長)

山田 寛(ラボテック株式会社 研究本部 開発部 部長)

シーズ技術の施工

ニーズ提供者の感想

足立 哲治(湯梨浜町 産業振興課 係長)

講評

宮本 文穂(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」メンター)

閉会の挨拶

高口 敏弘(国土交通省 中国地方整備局 企画部 事業調整官)

03 第4回実証試験

自治体(施設管理者)が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する実証試験を実施しました。

第4回実証試験では、第4回ピッチイベントで取り上げたニーズのひとつである津山市の「日交通量1万台以上でも10年間耐久する白線」という課題に対し、株式会社キクテックが有する「耐摩耗性路面標示材 ARライン」という路面標示材について、津山市において製品の説明とともに市道での試験施工を行いました。なお、効果の検証は、後日報告会を開催することとしています。



森藤幹夫課長補佐によるニーズ提供者の挨拶の様子



シーズ技術による施工の様子



テレビ放映の様子

日時 令和4年9月29日(木) 14:00~15:30

場所 岡山県津山総合体育館、市道新錦橋押入線(津山市林田)

参加者 16名(津山市3名、シーズ提供者及び施工業者6名、企画委員会3名、中国地方整備局2名、マスコミ2名)

プログラム

開会の挨拶

藤井 友行(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員リーダー)

ニーズ提供者の挨拶

森藤 幹夫(津山市 都市建設部 土木課 課長補佐)

シーズ技術の説明

寺倉 嘉宏(株式会社キクテック FB統括部 課長補佐)

シーズ技術の施工

ニーズ提供者の感想

石黒 潤(津山市 都市建設部 土木課 主任)

講評

藤井 友行(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員リーダー)

閉会の挨拶

今田 修(国土交通省 中国地方整備局 企画部 広域計画課 課長補佐)

「ちゅうごく」(中国フォーラム)

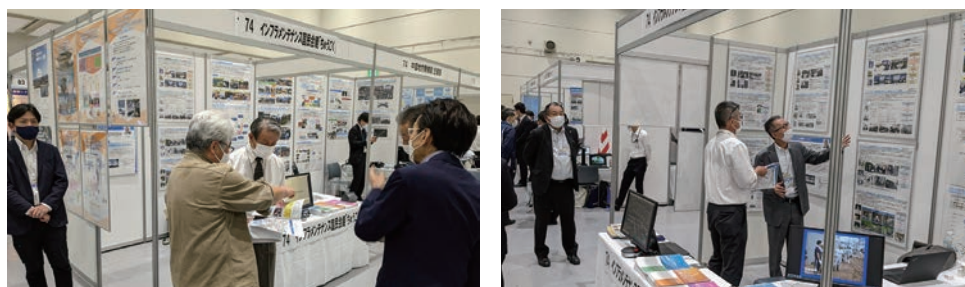
04 建設技術フォーラム2022 in ちゅうごく (ブース出展)

今年度の建設技術フォーラムは、「防災・減災、国土強靱化とインフラDX～建設現場を支える未来の技術～」と題して、防災・減災、国土強靱化に関する建設技術、それらの施策を効率的に進めるためのデジタル化に関する建設技術の技術展示や新技術・新工法などのオンラインセミナー発表を通じて、広く建設技術を紹介するものです。

「ちゅうごく」では、ブースを出展してこれまでの「ちゅうごく」活動内容を紹介するとともに、インフラメンテナンス国民会議への入会案内等を行いました。



インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のブース



ブース前での広報の様子

日時	令和4年10月13日(木) 10:00~16:30、14日(金) 9:30~15:30
場所	広島産業会館西展示館、オンライン会場
参加者	約1,800名
プログラム	<p>基調講演 緒方 正剛(株式会社EARTHBRAIN)</p> <p>技術展示 84ブース(オンラインのみ5団体、7社)</p> <p>セミナー発表 11課題</p> <p>学生交流広場 参加学校数4学校、参加企業数19社</p>

05 第5回ピッチイベント

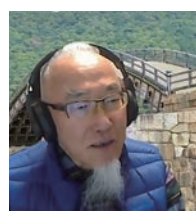
自治体(施設管理者)が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者等が課題解決に繋がる技術等を紹介する第5回ピッチイベント(技術提案会)を実施しました。

ピッチイベントでは、「橋梁の効率的な点検技術」、「水面と桁が近接する橋梁の効率的な点検技術」、「夜間に樋門の流入流出を明確に確認する設備」などの7つの課題に対し、民間事業者延べ10社が自社製品やサービスの紹介を行い、紹介された技術に対して施設管理者から積極的な質疑(施工条件、価格等)等、意見交換が行われました。

- 日時** 令和5年1月12日(木) 13:30~16:40
場所 オンライン開催
参加者 87名(ニーズ提供者24名、シーズ提供者16名、企画委員会13名、中国地方整備局4名、傍聴参加者30名)
プログラム **開会の挨拶**
 藤井 堅(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)
課題(ニーズ)の概要説明と留意事項
 インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会
プレゼンテーション
 自社製品やサービスの紹介希望者(全10社)
講評
 宮本 文穂(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」メンター)
閉会の挨拶
 高口 敏弘(国土交通省 中国地方整備局 企画部 事業調整官)



藤井堅フォーラムリーダーによる開会の挨拶の様子



メンター宮本文穂による講評の様子



プレゼンテーションでの質疑応答の様子

06 第6回ピッチイベント

自治体(施設管理者)が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者等が課題解決に繋がる技術等を紹介する第6回ピッチイベント(技術提案会)を実施しました。

ピッチイベントでは、「損傷を受けている橋梁等に対するセンサー等を利用した遠隔モニタリング」、「大規模出水後に早期に河川内土砂の堆積状況を把握」、「農地等の被害状況の把握」などの7つの課題に対し、民間事業者延べ10社が自社製品やサービスの紹介を行い、紹介された技術に対して施設管理者から積極的な質疑(施工条件、価格等)等、意見交換が行われました。

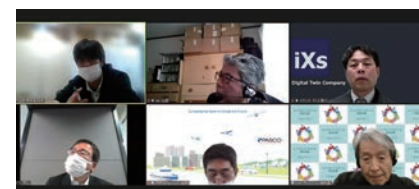
- 日時** 令和5年1月13日(金) 13:30~16:40
場所 オンライン開催
参加者 66名(ニーズ提供者11名、シーズ提供者13名、企画委員会12名、中国地方整備局4名、傍聴参加者26名)
プログラム **開会の挨拶**
 藤井 堅(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)
課題(ニーズ)の概要説明と留意事項
 インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会
プレゼンテーション
 自社製品やサービスの紹介希望者(全10社)
講評
 宮本 文穂(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」メンター)
閉会の挨拶
 高口 敏弘(国土交通省 中国地方整備局 企画部 事業調整官)



藤井堅フォーラムリーダーによる開会の挨拶の様子



メンター宮本文穂による講評の様子



プレゼンテーションでの質疑応答の様子

07 第7回ピッチイベント

自治体(施設管理者)が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者等が課題解決に繋がる技術等を紹介する第7回ピッチイベント(技術提案会)を実施しました。

ピッチイベントでは、「常時海中にある橋脚等の点検技術」、「道路土工構造物の点検技術、斜面の監視・予測技術」、「橋面補修の工期短縮」などの5つの課題に対し、民間事業者6社が自社製品やサービスの紹介を行い、紹介された技術に対して施設管理者から積極的な質疑(施工条件、価格等)等、意見交換が行われました。



藤井堅フォーラムリーダーによる
開会の挨拶の様子



プレゼンテーションでの質疑応答の様子



西澤賢太郎企画部長による
閉会の挨拶の様子

日時 令和5年1月31日(火) 14:45~17:10
場所 広島YMCA国際文化ホール、オンライン併用
参加者 263名

(ニーズ提供者10名、シーズ提供者16名、企画委員会等16名、
中国地方整備局4名、傍聴参加者214名(総合政策局2名、
中国地方整備局31名、地方自治体75名、民間企業等106名)、
マスコミ3社)

プログラム

開会の挨拶

藤井 堅(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)

ピッチイベントにおける留意事項

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会

プレゼンテーション

ニーズの説明(5テーマ)

自社製品やサービスの紹介希望者(全6社)

質疑応答

講評

宮本 文穂(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」メンター)

閉会の挨拶

西澤 賢太郎(国土交通省 中国地方整備局 企画部長)

四国地方フォーラム

インフラメンテナンス国民会議「四国地方フォーラム」は、四国地方4県の自治体及び建設コンサルタントが主体となり、平成29年12月26日に設立されました。地方自治体の課題に対し、民間企業が解決策となる技術を提案し、議論を深めて支援していきます。

リーダー 矢田部 龍一
愛媛大学防災情報研究センター
特命教授



01 愛媛大学防災情報研究センター技術開発講演会 「防災対応における新技術・新工法の開発と防災人材の育成」

愛媛大学防災情報研究センターが技術開発の研究成果を発表する講演会を開催（インフラメンテナンス国民会議四国地方フォーラム共催）しました。講演会では、防災対策工の施工と新技術の開発及び先駆的防災プロジェクト・防災教育・まちづくり研究を紹介しました。



成果発表の様子①



成果発表の様子②

日時 令和4年7月5日(火) 13:00~17:30

場所 愛媛大学南加記念ホール

参加者 会場参加:86名 WEB参加:262名

プログラム

開会挨拶

矢田部 龍一(愛媛大学 防災情報研究センター 特命教授)

発表

- ・平成30年7月豪雨による高知自動車道の被災及び復旧について~土木学会技術賞受賞~
- ・清流四万十川のシンボル「岩間沈下橋」の復活
~インフラメンテナンス大賞(メンテナンスを支える活動部門(道路分野))受賞~
- ・社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 等

発表内容の総括と今後の展開

02 インフラメンテナンス国民会議 第4回四国地方フォーラムピッチイベント

四国地方における各自治体のインフラメンテナンスに対するニーズや課題について、国土交通省の取組や民間企業の実装結果、取組及び最新技術を広く共有し、インフラメンテナンスに係る新技術の実装及び各自治体への支援等を図ることを目的に「第4回四国地方フォーラムピッチイベント」を開催しました。



プレゼンテーションの様子



フォーラムリーダー挨拶の様子



講演の様子

日時 令和4年10月6日(木) 15:30~17:00

場所 高松サンポート合同庁舎南館

参加者 約270名

(行政) 地方自治体及び国土交通省
(大学) 愛媛大学矢田部特命教授、吉井教授
(民間企業他) 四国内のコンサルタント、建設業企業等

プログラム

開会挨拶

矢田部 龍一(愛媛大学 防災情報研究センター 特命教授)

講演

点検支援技術に関わる四国地整の取組み

石原 弘之(国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路保全企画官)

プレゼンテーション

- ・点検から工事まで ①アスファルト舗装 ②橋梁(コンクリート床版)
ニチレキ株式会社 四国支店
- ・小規模橋梁におけるUAV(ドローン)を用いた橋梁点検手法の検証
株式会社第一コンサルタンツ
- ・コンクリート構造物の内部鋼材破断を検知する非破壊検査技術(SenrigaN)の検査事例紹介
コニカミノルタ株式会社 ビジネスイノベーションセンタージャパン

総括及び閉会挨拶

吉井 稔雄(愛媛大学 教授)

03 メンテナンス人材の育成と インフラ空間基盤情報活用に関するセミナー

えひめ建設技術防災連携研究会及び愛媛大学防災情報研究センターが、建設関連の技術開発や人材育成に関するセミナーを開催（インフラメンテナンス国民会議四国地方フォーラム共催）し、その中でレーダー探査新技術を活用した地下埋設物調査やインフラメンテナンスの人材の育成の取組み等の事例紹介を行いました。



事例紹介の様子①



事例紹介の様子②

日時 令和4年10月14日（金）13:20～16:20

場所 愛媛大学南加記念ホール

参加者 会場参加:90名 WEB参加:228名

プログラム

開会挨拶

ネトラ・プラカッシュ・バンダリ（愛媛大学 防災情報研究センター長）

開催趣旨

矢田部 龍一（えひめ建設技術防災連携研究会 教育部会長）

基調講演

全 邦釘（東京大学大学院 工学系研究科 特任准教授）

事例紹介

- ・国土交通省におけるDXとインフラ空間基盤情報の活用
- ・レーダー探査新技術を活用した愛媛大学構内の地下埋設物調査
- ・インフラメンテナンス人材の育成-愛媛大学ME養成講座の取組み- 等

閉会挨拶

大野 二郎（えひめ建設技術防災連携研究会 副会長）

九州フォーラム

平成30年1月17日に設立した九州フォーラムも5年が経過し、技術のマッチングイベントはもとより、自治体からの「よろず相談」にお応えするテクシニアーズの支援活動や市民参画型のイベント開催など、当フォーラムならではの活動にも積極的に取り組んで参りました。テクシニアーズの活動については、土木学会の2022年度インフラメンテナンス賞において、チャレンジ賞を授賞いたしました。

リーダー 日野伸一
九州大学 名誉教授



01 第6回ピッチイベントinながさき

ピッチイベントを九州全域への活動展開するための第二弾として、長崎県内で収集したニーズに対してマッチング活動を行うことで、地域に根ざした活動を展開しました。

パネルディスカッションでは、道路愛護活動の紹介や防災における連携の取り組みについて紹介しました。技術的なテーマでは、市町の橋梁管理者へのヒアリングを基にした維持管理の実態、新技術の必要性や新技術を用いた定期点検の事例紹介、新技術を用いる際の課題の整理や解決について議論し、会場からの質問に対してパネリストから回答と助言を頂きました。



パネルディスカッションの様子



開会挨拶の様子

日時 令和4年8月1日(月) 13:30~17:05
場所 長崎大学 中部講堂(オンライン併用)
参加者 来場参加:163名 オンライン参加:110名

プログラム

開会挨拶

松田 浩(長崎大学教授)

基調講演

- 1.インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムの活動の紹介
福島 宏治(九州フォーラムサブリーダー)
- 2.テクシニアーズの設立と活動の紹介
川神 雅秀(テクシニアーズ活動推進室長)
- 3.玉名市モデルの水平展開と人材育成
木下 義昭(玉名市)

パネルディスカッション

- ①運営課題的なテーマ(インフラを地域で如何に守っていくか~みんなの道を守りたい~)
●コーディネーター
松永 昭吾(噂の土木応援チーム デミーとマツ)
- ②技術的なテーマ(市町管理橋梁の維持管理の実態~課題の共有と解決に向けた第一歩~)
●コーディネーター
山口 浩平(長崎大学准教授)

閉会挨拶

吉川 國夫(道守養成ユニットの会会長)



基調講演
(テクシニアーズの設立と活動の紹介)の様子

02 第7回ピッチイベント 「市長村長が考えるこれからのインフラメンテナンス」

今回のピッチイベントでは、今年度新たに設立された「インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック」と共同開催しました。

前半の基調講演では、インフラメンテナンスに関する取組の現状や地方自治体が抱えるインフラメンテナンスの課題と展望について講演して頂きました。

後半では、地方自治体におけるインフラメンテナンスの新たな展開に関するパネルディスカッションや地方自治体におけるインフラメンテナンスの取組事例の紹介を実施し、各パネリストから様々なご意見を伺うことができました。



パネルディスカッションの様子



開会挨拶の様子



基調講演(熊本市長)の様子

日時 令和4年10月12日(水) 13:00~17:00
場所 福岡国際会議場
参加者 来場参加:127名 WEB参加:276名

プログラム

開会挨拶

日野 伸一(九州フォーラムリーダー/九州大学名誉教授)
 藤巻 浩之(九州地方整備局)

基調講演

- インフラメンテナンスに関する取組の現状
 ~インフラメンテナンス市区町村長会議設立の趣旨~
 廣瀬 健二郎(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 事業総括調整官)
- 首長が語る『地方自治体が抱えるインフラメンテナンスの課題と展望』
 大西 一史(熊本市長)
 金子 健次(柳川市長)
 小松 政(武雄市長)

パネルディスカッション

~地方自治体におけるインフラメンテナンスの新たな展望について~

●ファシリテーター

日野 伸一(九州大学名誉教授)

話題提供

~地方自治体におけるインフラメンテナンスの取組み事例~

●コーディネーター

野上 和彦(九州フォーラム 自治体支援ユニットリーダー)

閉会挨拶

福島 宏治(九州フォーラムサブリーダー/一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部)

03 テックシニアーズによる 自治体への技術支援活動

テックシニアーズ(大学名誉教授・元役所及び財団職員・元企業社員で構成)は専門技術者が不足する自治体向けに、技術支援・教育支援・交流支援を主軸として活動を行っているボランティア組織です。今年度の支援活動としては、九州7県道路メンテナンス会議技術検討部会地域症例検討会に技術アドバイザーの立場で参画し、症例の事例紹介を行った自治体等に対して、様々なよろず相談(健全性の判定方法、変状原因、構造安全性に対する性能照査、詳細調査の必要性、補修設計・施工法等)に技術助言を行うなどの活動を実施しました。



地域症例検討会長崎会場の様子



地域症例検討会大会場の様子

- 日時**
- ・ 福岡県 開催日:令和4年8月08日、令和5年2月16日
 - ・ 佐賀県 開催日:令和4年7月20日、令和5年2月10日
 - ・ 長崎県 開催日:令和4年7月25日、令和5年2月07日
 - ・ 熊本県 開催日:令和4年7月13日、令和5年2月09日
 - ・ 大分県 開催日:令和4年7月21日、令和5年3月02日
 - ・ 宮崎県 開催日:令和4年7月22日
 - ・ 鹿児島県 開催日:令和4年7月26日、令和5年2月21日

場所 九州地方整備局各直轄事務所など

参加者 地方自治体(県、市町村)、国土交通省九州地方整備局(企画部・道路部・各直轄事務所・九州道路メンテナンスセンター)、NEXCO、九州フォーラム(テックシニアーズ)

プログラム 九州7県道路メンテナンス会議技術検討部会地域症例検討会にアドバイザーとして参画(地域症例検討会には、九州7県233団体の市町村の大半が参加)

- 道路インフラの劣化損傷事例を各自自治体が持ち回りで発表
- 法令に基づく定期点検の点検(状況把握)・診断(特に、健全性判定区分Ⅲ「早期措置段階」の考え方)・補修の方法などを参加者間で意見交換。
- 症例検討会終了後、発表自治体向けに個別よろず相談会を開催。

沖縄フォーラム

沖縄フォーラムは、平成30年3月5日に準備会での議論のうえ、平成30年3月22日に設立しました。自治体が抱えるインフラメンテナンスの課題を克服するために、産学官民が一丸となって解決に取り組んでまいります。

リーダー 有住 康則
琉球大学 名誉教授

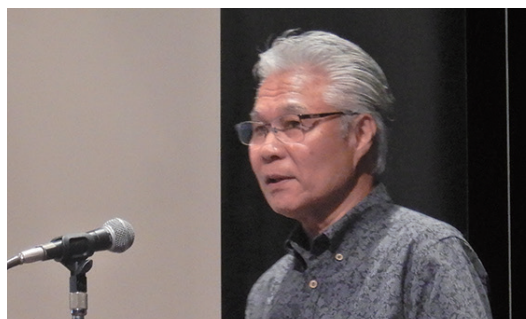


01 コンクリート構造物の 品質確保・ひび割れ抑制と生産性向上

コンクリート構造物の耐久性向上への取組の一環として実務担当者の啓蒙と技術向上を目的とした講演会を開催しました。前半の特別講演会では、耐久性向上は、多くの労力を必要とし、また、ひび割れ抑制のマネジメントの困難さがあることが述べられ、その上で生産性向上において実現性を考慮した効果的な手法について数多くの事例を紹介頂きました。また、後半では、沖縄における耐久性向上策として、フライアッシュコンクリートの適用事例、品質確保に向けた現場での取組事例を紹介頂きました。



特別講演の様子



講演の様子

日時 令和4年9月8日(木) 14:00~17:00

場所 沖縄県立博物館・美術館(那覇市)

参加者 約72名(内訳:行政7名、団体17名、民間48名)

プログラム 特別講演

コンクリート構造物の品質確保・ひび割れ抑制と生産性向上

細田 暁(横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授)

講演

沖縄県におけるコンクリート構造物の耐久性向上を目的とした取り組み

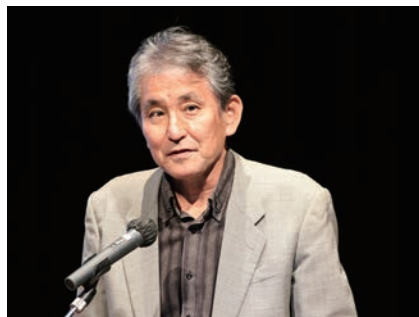
風間 洋(アール・アンド・エー代表)

02 本土復帰50周年と 沖縄のインフラ整備について

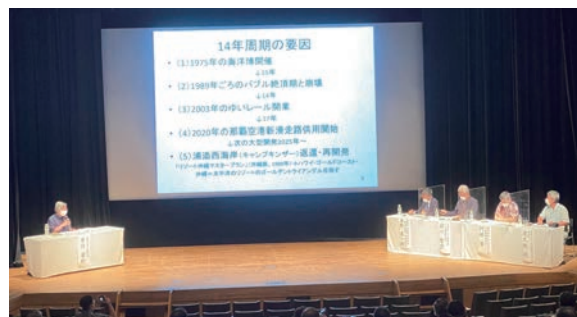
基調講演では、沖縄振興の原点から癒しの島沖縄の創生と海洋都市沖縄の発展について講演して頂きました。テーマ講演では、復帰後の沖縄振興計画と社会資本整備の取組から沖縄の経済発展の状況、インフラメンテナンスの現状と課題、今後の取組について講演頂きました。トークセッションでは、本土復帰50年の沖縄振興の取組と残された課題について、交通問題を中心にそれぞれの立場から意見を伺い、沖縄の地域公共交通の未来や道路整備に伴う観光振興のビジョンについて議論が行われ、そのなかで、今後の沖縄振興50年における様々なポテンシャルが示されました。



基調講演の様子



テーマ講演の様子



トークセッションの様子

日時 令和4年11月25日(金) 13:30~16:40

場所 バレット市民劇場(那覇市)

参加者 約169名(内訳:行政31名、団体22名、民間116名)

プログラム

基調講演

沖縄振興の半世紀を振り返る
~海洋都市・沖縄の持続可能な発展にむけて~
樋谷 裕司(元 沖縄総合事務局長)

テーマ講演

沖縄振興50年の取組と力強い沖縄の発展にむけて
大城 郁寛(琉球大学名誉教授)

トークセッション

●コーディネーター

有住 康則(琉球大学名誉教授)

●パネリスト

桑野 真一郎(内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官)

前川 智宏(沖縄県 土木建築部 土木整備統括監)

阿部 等(株式会社ライトレール 代表取締役社長)

渡久地 明(有限会社沖縄観光速報社 編集長)

第6回インフラメンテナンス大賞

インフラメンテナンス大賞は、日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取り組みや技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取り組みを促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図るため実施するものです。

第6回は、7省（総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、防衛省、国土交通省）が所管する施設について195件の応募があり、37件の受賞者を決定し、令和5年1月13日にオンラインで表彰式を実施しました。



斉藤国土交通大臣による祝辞



国土交通大臣賞表彰式の様子①



三木 千壽氏（選考委員会 委員長）



国土交通大臣賞表彰式の様子②



家田 仁氏（社会資本メンテナンス戦略小委員会委員長）



国土交通大臣賞表彰式の様子③

日時 令和5年1月13日（金）13:00～15:00

場所 中央合同庁舎第3号館 10階共用会議室

- 次第**
- ・国土交通大臣祝辞
 - ・受賞者表彰（37団体）
 - ・インフラメンテナンス大賞 選考委員会委員長 講評
 - ・社会資本メンテナンス戦略小委員会委員長よりメッセージ
 - ・第7回インフラメンテナンス大賞 説明

参加者 インフラメンテナンス大賞選考委員会 委員長 三木 千壽（東京都市大学 学長）
社会資本メンテナンス戦略小委員会委員長 家田 仁（政策研究大学院大学 特別教授）

〈主務省庁代表〉

- 斉藤 鉄夫（国土交通大臣）
- 伊佐 進一（厚生労働副大臣）
- 野中 厚（農林水産副大臣）
- 中谷 真一（経済産業大臣政務官）
- 木村 次郎（防衛大臣政務官）

〈受賞者・関係者〉

会場参加者：約110名

第6回インフラメンテナンス大賞

第6回インフラメンテナンス大賞受賞者

省	No	表彰の種類	部門*	分野	応募者 (代表企業・団体名)	応募案件名
総務省	1	優秀賞	ウ	情報通信 関係施設	株式会社四電技術コンサルタント	ICT技術とBIM/CIMモデルを融合した維持管理手法の構築に向けた取組み
文科科学省	1	特別賞	ア	文教 施設等	明石市総務局財務室財務担当	市有施設包括管理業務委託
文科科学省	2	優秀賞	ア	文教 施設等	大田原市教育委員会	学校施設における法12条点検の取り組みと修繕工事のインソーシング
厚生労働省	1	厚生労働大臣賞	ア	水道	八尾市水道局 施設整備課	Excelを活用した直営での水道施設台帳システムの運用方法
農林水産省	1	農林水産大臣賞	イ	水産 基盤等	一般社団法人 漁港漁場新技術研究会	地方公共団体を支援する漁港漁場施設の維持管理ガイドラインの作成・普及
	2		ウ	農業 農村	藤村クレスト株式会社	パネル被覆工法「ストパネ工法」による腐食鋼矢板水路の補修・迅速再生技術の開発
	3	特別賞	イ	農業 農村	いなみ野ため池ミュージアム運営協議会	いなみ野ため池ミュージアムの取組
	4		イ	農業 農村	新潟県農地部農地建設課	新潟県における振動測定による農業用ポンプの状態監視の取組
	5		イ	農業 農村	岐阜県土地改良事業団体連合会	地元管理者による施設監視情報の蓄積と図表選択式による施設点検システムの開発
	6		ア	農業 農村	岩見沢市農政部	5次元治水対策による持続的で柔軟な地域強靱化
	7	優秀賞	ア	農業 農村	磐田用水東部土地改良区	新技術の導入と地域ぐるみの活動で農業水利施設の管理を効率化
	8		ア	農業 農村	山形県ため池サポートセンター	ICTを活用したため池定期点検への挑戦
	9		イ	水産 基盤等	長崎県庁 水産部 漁港漁場課	県職員OBによる施設点検への協力と技術継承
	10		ウ	農業 農村	株式会社 荏原製作所	ドライ始動（低トルク始動）対応横軸ポンプの技術開発
	11		ウ	林野	秋田県立大学	危険予測の可能なIoTセンサと間伐材を用いた雪崩・落石の計測網開発
経済産業省	1	経済産業大臣賞	ア	ガス	大阪ガスネットワーク株式会社	担い手不足の社会に対応した都市ガス供給用ガバナのメンテナンス効率化
	2		ウ	電力	東京電力パワーグリッド株式会社	送電用鋼管鉄塔の部材腐食に伴う現場VaRTM工法によるCFRP補修技術の開発
	3	優秀賞	ア	電力	国立大学法人 滋賀医科大学	接地極無開放方式を採用した接地端子盤
防衛省	1	防衛大臣賞	ウ	自衛隊 施設	日本工営株式会社	BSC工法を活用した演習場内道路法面等の保全
	2	優秀賞	ア	自衛隊 施設	日本海洋コンサルタント株式会社	ドッグ排水設備、通水路の目視調査における水中ドローンの活用
国土交通省	1	国土交通大臣賞	ア	河川・ダム・ 砂防・海岸	松江市上下水道局	文化財に指定されたダムの堤体PSアンカー工法による耐震補強工事
	2		イ	道路	岩手県県土整備部道路環境課	高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組
	3		ウ	港湾・ 海岸	株式会社大林組	圧入施工が可能な超高耐久性モルタルによる補修技術（スリムフローグラウト工法）の開発
	4	特別賞	ア	空港	国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所	100年間性能を確保する羽田空港D滑走路の維持管理サイクル
	5		ウ	下水道	大成建設株式会社	耐硫酸コンクリートを用いた下水道施設のメンテナンスフリー技術の開発
	6		ウ	鉄道	西日本旅客鉄道株式会社	出改札機器CBMの実現に向けた故障予測AIの開発
	7		ア	道路	多摩市	包括的民間委託を活用した橋梁維持管理の仕組みづくり
	8	優秀賞	ア	道路	国土防災技術株式会社	軽量ボーリングマシンを使用した高品質盛土診断技術・QSボーリング工法
	9		ア	港湾・ 海岸	国際航業株式会社	ナローマルチビーム・レーザスキャナ・UAVを用いた港湾施設の効率的な三次元計測
	10		ア	港湾・ 海岸	東亜建設工業株式会社	CIMを取り入れた岸壁補修工事における施工管理の効率化の取組
	11		イ	道路	ウシワカ製作委員会	ウシワカ・プロジェクト
	12		ウ	道路	三井住友海上火災保険株式会社	～産学官連携DXで道路点検をサポート～ ドラレコ・ロードマネージャー
	13		ウ	河川・ダム・ 砂防・海岸	大林・佐藤・日本国土特定建設工事 共同企業体	DX-ダム本体建設における、CIMの設計・施工・維持管理への一貫利用
	14		ウ	下水道	日本水工設計株式会社	下水道の雨天時浸入水検出技術「ラインスクリーニング」の開発
	15		ウ	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社	鉄道建築物被災度判定アプリの開発と判定訓練手法の確立
	16		ウ	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社	モニタリング技術を用いた架線設備検査手法の開発と本格導入
	17		ウ	公園	一般社団法人日本公園施設業協会	都市公園における遊具等の点検データベースシステムの開発と運用

※凡例 ア/メンテナンス実施現場における工務部門 イ/メンテナンスを支える活動部門 ウ/技術開発部門



I n f r a s t r u c t u r e M a i n

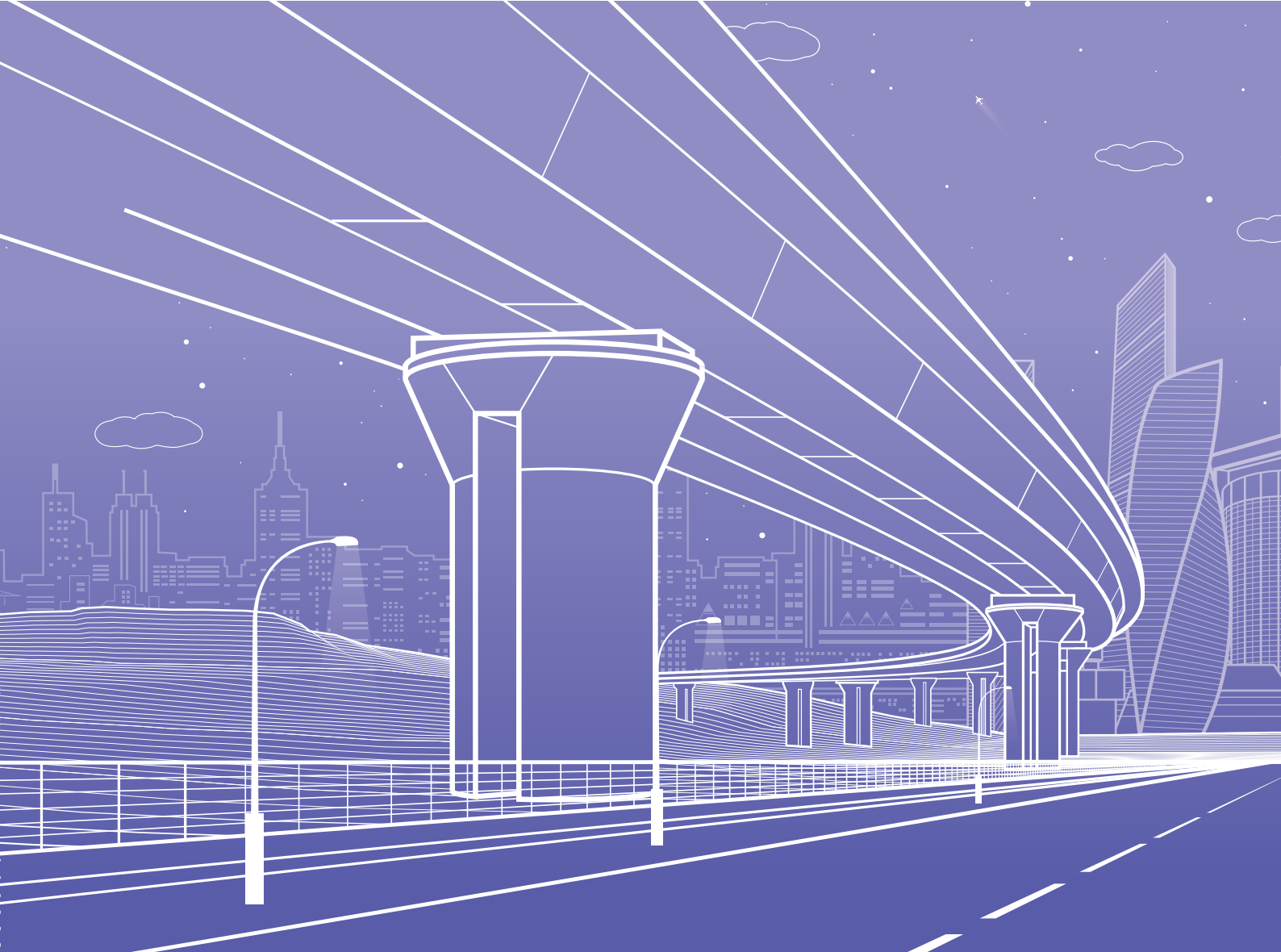


【写真提供】 山崎エリナ (やまさき・えりな)

写真家 兵庫県神戸市出身。パリを拠点に3年間の写真活動に専念する。40ヵ国以上を放して撮影を続け、エッセイを執筆。2018~2022年は「山崎エリナ写真展 インフラメンテナンス」を福島、新潟、大阪、東京ビッグサイト(社会インフラテック)など全国各地で開催。橋梁、トンネル、道路のメンテナンス現場を撮影した写真による広報活動は、第3回インフラメンテナンス大賞 優秀賞を受賞。

2022年度にはこれまでの取り組みの成果が評価され、土木学会のインフラメンテナンス 特別賞を受賞。

写真集に「インフラメンテナンス」、「CivilEngineers」、「トンネル誕生」、「鉄に生きる」、「アクアライン」、「ローカルゼネコンの素顔」などがある。



インフラメンテナンス国民会議ホームページ

インフラメンテナンス国民会議



インフラメンテナンス国民会議 (JCIM) 事務局

hqt-jcim-sogo@gxb.mlit.go.jp

2023年4月発行